

# Sitecore CMS 6.4 クライアント構成クックブック

CMS アーキテクトとデベロッパーのための機能とヒントとテクニック

Sitecore®は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。 この文書の内容はサイトコアの所有物です。Copyright © 2001-2011 Sitecore.All rights reserved.



目次

Chapter 1	イントロダクション
Chapter 2	共通の手順7
2.1 共通	極手順8
2.1.1	Sitecore デスクトップでのデータベースの選択方法8
2.1.2	スタンダード フィールドを表示または非表示にする8
2.1.3	RAW 値を表示または非表示にする8
2.1.4	デベロッパー タブを表示または非表示にする9
2.1.5	アイテムの ID または Path を Windows クリップボードにコピーする方法
2.1.6	クラス シグネチャを入力する方法10
Chapter 3	データ テンプレートとアイテム11
3.1 P1	テムの見た目 12
3.1.1	アイコン12
アイテム	へのアイコンの設定方法12
データラ	テンプレートに基づくすべてのアイテムにデフォルト アイコンを設定する方法
すべての	)アイテムへのデフォルトアイコンの設定方法13
アイコン	選択 メニューの構成方法 13
3.1.2	非表示のアイテム13
非表示	アイテムを表示または非表示にする13
アイテム	を表示または非表示にする14
3.1.3	保護されたアイテム
アイテム	を保護または保護を解除する14
3.1.4	アイテムのスタイル14
コンテン	ツ ツリーでのアイテム名のスタイルの構成方法14
3.1.5	表示名
アイテム	への表示名の設定方法16
3.1.6	コンテキスト ヘルプ
アイテム	のコンテキスト ヘルプの設定方法16
3.2 デー	タ テンプレートのセクション
3.2.1	データテンプレートのセクションのアイコン18
3.2.2	データ テンプレートのセクションのアイコンの設定方法18
3.2.3	データ テンプレートのセクションの並べ替え順序19
データラ	テンプレートのセクションの並べ替え方法19
データラ	テンプレート セクション定義アイテムの並べ替え順序プロパティの設定方法
3.3 デー	タ テンプレート フィールド



3.3.1 データ テンプレート フィールドのヘッダーとコンテキスト ヘルプ	. 20
データ テンプレート フィールドのタイトルの設定方法	20
データ テンプレート フィールドにコンテキスト ヘルプを設定する方法	20
3.3.2 データ テンプレート フィールドのスタイルの設定方法	21
3.3.3 データ テンプレートのフィールドの並べ替え順序	21
データテンプレートのフィールドの並べ替え方法	21
データ テンプレート フィールド定義アイテムの並べ替え順序プロパティの設定方法	21
3.3.4 リッチ テキスト エディター (RTE) の構成	22
RTE プロファイル定義アイテム リファレンス	22
RTE プロファイルの構成方法	23
RTE プロファイルへの Path の判定方法	23
RTE テンプレート フィールド定義アイテムのプロファイルを設定する方法	24
RTE プロファイルの機能の追加方法	24
RTE フィールドで使われる CSS を設定する方法	24
RTE フィールドで表示する CSS スタイルを制限する方法	24
RTE HTML 要素 タイプ ドロップダウン メニューを構成する	25
RTE プロファイルで Snippet を有効化する方法	26
RTE プロファイルに Snippet を追加する方法	. 26
エンター キーで挿入されたマークアップを制御する方法	26
RTE HTML タブをあるユーザーまたはすべてのユーザーに対して無効にする方法	. 27
3.4 データ テンプレートのカスタム ユーザー インターフェイス	28
3.4.1 IFrame フィールドタイプ	28
IFrame データ テンプレート フィールドの作成方法	. 28
3.4.2 アイテム エディター	. 29
アイテム エディターの構成方法	30
カスタムのアイテムエディターの作成方法	. 30
3.5 挿入オプション	. 32
3.6 アイテム サムネイル	. 33
Chapter 4 データ検証	. 35
4.1 検証の概要	. 36
4.2 検証の種類	. 38
4.2.1 データ テンプレートのフィールド検証	. 38
4.2.2 フィールド タイプの検証	. 38
4.2.3 アイテムの検証	. 38
4.2.4 標準の検証	. 38
4.2.5 グローバル アイテムの検証	. 38
4.3 検証のエラー レベル	39



4.4 検証	Eルールの構成
4.4.1	クイック アクション バーの検証ルール構成方法40
4.4.2	検証ボタンの検証ルールの構成方法 40
4.4.3	検証バーの検証ルールの構成方法 40
4.4.4	ワークフローの検証ルールの構成方法40
4.4.5	ワークフロー コマンドの作成または状態検証アクションの作成方法40
4.4.6	データ テンプレート フィールド タイプのすべてのインスタンスへの検証ルール構成方法
4.4.7	すべてのアイテムへの検証ルール構成方法41
4.4.8	個々のアイテムまたは特定のデータ テンプレートに基づくすべてのアイテムへの検証ルールの構成方
法	42
4.4.9	特定のデータ テンプレート フィールドへの検証ルール構成方法42
4.4.10	デフォルトのアイテム検証コントロール42
4.4.11	デフォルトのフィールド検証コントロール43
4.5 検証	Eコントロールの登録
4.5.1	検証コントロールの登録方法45
4.5.2	正規表現フィールド検証コントロールの登録方法45
4.5.3	整数フィールド検証コントロールの登録方法46
4.5.4	整数範囲フィールド検証コントロールの登録方法46
4.5.5	最大長フィールド検証コントロールの登録方法46
4.5.6	特定のアイテムと特定のテンプレートに基づくアイテムのための検証コントロールの登録方法 47
4.5.7	デフォルトの検証ルールを無効にする方法47
4.5.8	検証コントロールのデフォルトのエラー レベルを上書きする方法
4.5.9	検証ルールを実行しない方法
4.6 カス	タム検証コントロール
4.6.1	カスタム検証コントロールの実装方法49
4.6.2	カスタム検証コントロールの実装方法49
4.7 検証	Eアクション
4.7.1	検証アクションの作成方法
4.7.2	検証アクションの使用方法 52
Chapter 5	ページ エディター
5.1 ペー	ジ エディターの概要
5.1.1	ページ エディターのデザイン モード
5.2 プレ・	ースホルダーの設定
5.2.1	プレースホルダー設定定義アイテムの作成方法 56
5.2.2	データ テンプレートまたは個々のアイテムへのプレースホルダー設定の構成方法56
5.2.3	ページ エディターを使用してコンポーネントを割り当て、プレースホルダー設定を編集する方法 57
コンポー	ネントを割り当てる



プレース	スホルダーに関連付けられたコントロールを編集する	57
5.3 ペー	-ジ エディターのモード	60
5.3.1	ページ エディターのモードの判定方法	60
5.3.2	ページ エディターのモード	60
5.4 エデ	ディット フレーム	62
5.4.1	エディット フレーム メニュー コマンドの実装方法	63
5.4.2	エディット フレーム メニューの定義方法	63
5.4.3	レイアウトまたはサブレイアウトにエディット フレームを挿入する方法	64
5.4.4	XSL レンダリングにエディット フレームを挿入する方法	64
5.4.5	エディット フレーム プロパティ	64
5.5 フィー	ールド、レンダリング、プレースホルダーにコマンドを作成する	
5.6 フィー	ールド エディター	68
5.6.1	デフォルトのフィールド エディターの使用方法	68
5.6.2	カスタムのフィールド エディターの実装方法	69
Chapter 6	セキュリティの構成機能	71
6.1 Site	ecore のクライアント セキュリティ ロール	
6.2 セキ	-ュリティのプリセット	75
6.2.1	セキュリティのプリセットの作成方法	75
6.2.2	セキュリティのプリセットの適用方法	
6.3 デー	-タ テンプレートのフィールドのセキュリティ	
データ	テンプレートのフィールド セキュリティの構成方法	
Chapter 7 S	Sitecore クライアント RSS フィード	
7.1 Site	ecore クライアント RSS フィードの概要	
7.1.1	ワークフロー フィード	
7.1.2	ワークフロー状態フィード	
7.1.3	アイテム更新フィード	
7.2 Site	ecore クライアント RSS フィードの構成	80
7.2.1	ClientFeeds.MaximumItemsInFeed 設定	80
7.2.2	ClientFeeds.ItemExpiration 設定	80



# **Chapter 1**

# イントロダクション

この Cookbook は CMS アーキテクトとデベロッパーが Sitecore クライアントのユーザー インターフェイ スのユーザビリティを最適化するための情報、ヒント、テクニックを提供します。<sup>1</sup>

この文書には次の章があります。

- Chapter 1 イントロダクション
- Chapter 2 共通の手順
- Chapter 3 データ テンプレートとアイテム
- Chapter 4 データ検証
- Chapter 5 ページ エディター
- Chapter 6 セキュリティの構成機能
- Chapter 7 Sitecore クライアント RSS フィード

<u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese.aspx</u>から『インストールガイド』を参照してくだ さい。Internet Explorer の構成については <u>http://sdn.sitecore.net/Reference/</u>

<u>References%20in%20Japanese/IE%20Configuration%20Reference.aspx</u>から『Internet Explorer 構成リファ レンス』を参照してください。

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup>クライアントのハードウェア要件については



# Chapter 2

# 共通の手順

この章では、この文書と他の文書で記述されている手順で必要となる共通の手順について説明します。

この章には次のセクションがあります。

共通の手順



# 2.1 共通の手順

このセクションでは、この文書と他の文書で記述されている手順で必要な共通の手順について説明します。

# 2.1.1 Sitecore デスクトップでのデータベースの選択方法

Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法:

- 1. ブラウザから http://localhost/sitecore などの Sitecore ログイン ページにアクセスします。
- 2. Sitecore ログイン ページで Sitecore のユーザー名とパスワードを入力します。
- 3. Sitecore ログイン ページで [**Options**] をクリックし、次に [**Desktop**] をダブルクリックします。ブラウザで Sitecore デスクトップが表示されます。
- Sitecore デスクトップの右下の隅で、データベース アイコンをクリックし、次にデータベース名をクリックします。
   Sitecore デスクトップが再表示され、開いているアプリケーションが閉じられます。Sitecore デスクトップから [コンテンツ エディター] または他のアプリケーションを開くと、選択したデータベースにアクセスします。これはログ アウトするか、または他のデータベースを選択するまで同様です。
- 5. Sitecore デスクトップの選択されたデータベースで、左下の隅で、Sitecore をクリックし、次に [コンテンツ エ ディター] をクリックします。Sitecore デスクトップの選択されたデータベースで、 [コンテンツ エディター] が表 示され、選択されたデータベースを扱うことができます。

#### 重要

意図しないデータベースの変更を行なってしまう可能性を避けるため、他のデータベースを扱った後では必ず Master デ ータベースを選択します。

#### メモ

特に指定されていない限り、この文書および他の Sitecore の文書の手順の中では Master データベースが選択されて いるものとします。

#### 2.1.2 スタンダード フィールドを表示または非表示にする

スタンダードフィールドを表示または非表示にする方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [表示] タブをクリックします。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [表示] タブの、[表示] グループで、[スタンダード フィールド] のチェック ボックスをオンまたはオフにします。

#### ۶Ł

スタンダードフィールドの表示または非表示は Sitecore クライアントのパフォーマンスに影響をあたえます。

#### 2.1.3 RAW 値を表示または非表示にする

フィールドの RAW 値を表示することでフィールドのテキスト値を調べることができます。たとえば、フィールドの RAW 値を参照して、Sitecore がある要素を保存する属性を決めることができます。



#### メモ

可能な限り、フィールドの RAW 値に直接アクセスするよりも、フィールドの値を抽象化しているコンストラクトを使用してください。

RAW 値を表示または非表示にする方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [表示] タブをクリックします。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [表示] タブの、[表示] グループで [RAW 値] のチ ェック ボックスをオンまたはオフにします。

### 2.1.4 デベロッパー タブを表示または非表示にする

[デベロッパー] タブは Sitecore ソリューションを作成する開発者に便利な機能を提供します。

[デベロッパー] タブを表示または非表示にする方法:

• コンテンツ エディターでタブを右クリックし、次に [デベロッパー] のチェック ボックスをオンまたはオフにします。



# 2.1.5 アイテムの ID または Path を Windows クリップボードにコピーする方法

アイテムの Path を Windows クリップボードにコピーする方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [アイテム] を選択し、次に [コンテンツ] タブをクリック します。
- 2. [**クイック情報**] セクションで [**アイテム ID**] または [**アイテム Path**] の値でマウスをクリックまたはドラッグしま す。Path を Windows クリップボードにコピーするには CTRL-C を押すか、選択したテキストを右クリックし、 次に [**コピー**] を選択します。

ヒント

[デベロッパー] タブの [表示] グループにある [ID] と [アイテム Path] コマンドを使って ID またはアイテムへの Path をコピーすることもできます。 [デベロッパー] タブに関する詳細は「デベロッパー タブを表示または非表示にする」のセクション を参照してください。



# 2.1.6 クラス シグネチャを入力する方法

クラス シグネチャは .NET アセンブリ (.dll ファイル) におけるクラスを識別します。 クラス シグネチャを入力する方法:

1. 次のプロトタイプを入力します:

Namespace.Class, Assembly

- 2. Namespace をクラスを含む名前空間で置換します。
- 3. Class をクラスの名前で置換します。
- 4. Assembly をクラスを含むアセンブリの名前 (.dll 拡張子なし) で置換します。



# **Chapter 3**

# データ テンプレートとアイテム

この章ではデータ テンプレートとアイテムを構成するヒントとテクニックについて説明します。それらはアイテムの制御、セクション、フィールドの外観、カスタム アイテム エディター、挿入オプションについてです。

この章には次のセクションがあります。

- アイテムの見た目
- データ テンプレートのセクション
- データ テンプレート フィールド
- データ テンプレートのカスタム ユーザー インターフェイス
- 挿入オプション
- アイテム サムネイル



# 3.1 アイテムの見た目

次の機能を使ってコンテンツ ツリーでのアイテムの見た目を制御することができます。標準テンプレートのフィールドが各アイテ ムのアイコンを定義します。

# 3.1.1 アイコン

コンテンツ エディターのコンテンツ ツリーを含む Sitecore ユーザー インターフェイスは各アイテムのとなりにアイコンを表示します。

開発者はアイコンを次のために使います:

- 特定のアイテムを視覚的に差別化する
- 特定のテンプレートに基づくアイテムを視覚的に差別化する

アイテムがアイコンを指定していない場合、コンテンツ ツリーはアイテムに関連付けられているデータ テンプレートに指定され ているアイコンを表示します。そのデータ テンプレートがアイコンを指定していない場合、コンテンツ ツリーは web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の value 属性で指定され た name DefaultIcon のアイコンを表示します。

#### メモ

Sitecore はテーマをサポートします。Sitecore は /sitecore/shell/themes/standard ディレクトリに相対し て相対アイコン Path を解釈します。たとえば、applications/16x16/star\_yellow.png という値は /sitecore/shell/themes/standard/applications/16x16/star\_yellow.png と同等です。

#### ۶Ł

アイコンはイメージを指す任意の URL とすることが可能です。

#### アイテムへのアイコンの設定方法

アイテムにアイコンを設定する方法:

- 1. **コンテンツ エディター**または**テンプレート マネージャー**で [アイテム] を選択します。
- 2. コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャーで [設定] タブをクリックします。
- 3. **コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャー**で [設定] タブの [アピアランス (外観と動作)] グルー プで [アイコンを設定] コマンドをクリックします。[アイコン選択] メニュー が表示されます。
- 4. [アイコン選択メニュー] でアイコンを選択するか、または [他のアイコン] をクリックして [アイコン選択] ダイアログ を使ってアイコンを選択します。

メモ

[アイコン選択] ダイアログは 1 つのディレクトリにある多数のイメージを表示する場合にはロードに時間がかかる場合があります。



#### ヒント

[アイコン選択] ダイアログへのアクセス方法のショートカットとしては、[編集ウィンドウ] で [コンテンツ] タブをクリックし、[アイ テム タイトル バー] のアイコンをクリックします。

#### 重要

データ テンプレートにアイコンを設定することは、個々のアイテムにアイコンを設定するよりも望ましい方法です。 データ テンプ レートのアイコンはテンプレートに基づくアイテム (スタンダード バリュー アイテムを含む) のデフォルト アイコンです。

#### データ テンプレートに基づくすべてのアイテムにデフォルト アイコンを設定する方法

データ テンプレートに基づくすべてのアイテムにデフォルト アイコンを設定する方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [データ テンプレート定義アイテム] を選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで、[データ テンプレート定義アイテム] でアイコンを設定 します。アイコンを設定する方法は「アイテムへのアイコンの設定方法」のセクションを参照してください。

#### 重要

アイコンをデータ テンプレートのスタンダード バリュー アイテムでなく、各データ テンプレートの定義アイテムで設定します。ア イコンをデータ テンプレートのスタンダード バリュー アイテムにのみ設定した場合は、そのアイコンはデータテンプレート自体に は適用されません。コンテンツ ツリーのデータ テンプレートに表示されたアイコンはデフォルト アイコンのまま残ります。

#### すべてのアイテムへのデフォルトアイコンの設定方法

アイテム、データ テンプレート、データ テンプレートが関連付けられているスタンダード バリュー アイテムがアイコンを定義して いないような、すべてのアイテムにデフォルト アイコンを設定するには、web.config ファイルで、DefaultIcon という 名前の /configuration/sitecore/settings/setting で value 属性をデフォルトのアイコン Path に設定します。

#### アイコン選択 メニューの構成方法

[アイコン選択] メニューに表示するアイコンを構成するには、/App\_Config/Icons.config ファイルを編集します。 各コレクション要素が行を定義し、アイコン ファイルへの絶対または相対 Path のパイプ区切りのリストを含んでいます。

#### 3.1.2 非表示のアイテム

非表示のアイテムは非表示アイテムを表示する権限のないユーザーのコンテンツ ツリー、または非表示アイテムを表示しな いことを選択したユーザーのコンテンツ ツリーに表示されません。

#### 非表示アイテムを表示または非表示にする

非表示アイテムを表示するには、ユーザーは管理者または Sitecore Client Developing ロールまたは Sitecore Client Maintaining ロールのメンバーである必要があります。

非表示アイテムを表示する方法:

- 1. **コンテンツ エディター**または**テンプレート マネージャー**で [**ビュー**] タブをクリックします。
- 2. コンテンツ エディターまたはテンプレートマネージャーの [ビュー] タブで、[ビュー] グループで、[非表示アイテ



ム] のチェック ボックスをオンまたはオフにします。

#### アイテムを表示または非表示にする

アイテムを表示または非表示にするには、ユーザーは管理者または Sitecore Client Configuring ロールのメンバーである必要があります。

アイテム表示または非表示にする方法:

- 1. **コンテンツ エディター**または**テンプレート マネージャー**で [アイテム] を選択します。
- 2. コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャーで [設定] タブをクリックします。
- 3. コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャーで[設定] タブの [属性] グループで [アイテムを非表示に設定] をクリックしてアイテムを非表示にするか、または [アイテムを表示に設定] をクリックしてアイテムを 表示させます。

### 3.1.3 保護されたアイテム

保護されたアイテムは Sitecore ユーザー インターフェイスからは編集できません。

#### アイテムを保護または保護を解除する

アイテムを保護または保護を解除するには、ユーザーは管理者または Sitecore Client Configuring ロールのメンバーである必要があります。

アイテム保護または保護を解除する方法:

- 1. コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャーでアイテムを選択します。
- 2. コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャーで [設定] タブをクリックします。
- 3. コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャーで [設定] タブの [属性] グループで [アイテムの保護] をクリックしてアイテムを保護するか、または [アイテム保護の解除] をクリックしてアイテムを非保護にします。

# 3.1.4 アイテムのスタイル

アイテムのスタイルはコンテンツ ツリーで各アイテムが表示する名前の見た目を制御します。開発者は特定のアイテムまたは 特定のテンプレートに基づくアイテムを強調したり視覚的に差別化するためにアイテムのスタイルを使用することができます。 たとえば、ある種のシステム アイテムはデフォルトで緑色の文字で表示され、プロキシー アイテムはグレーアウトされて表示さ れます。

個々のアイテムにスタイルを設定するには、開発者はアイテムにアイテムのスタイルを適用します。開発者はアイテムのスタイ ルをデータ テンプレートに適用して、そのテンプレートに基づくすべてのアイテムにスタイルを設定することができます。

#### コンテンツ ツリーでのアイテム名のスタイルの構成方法

ッリー ノード スタイルを使ってコンテンツ ッリーでのアイテム名のスタイルを構成することができます。 アイテム名のツリーノードスタイルを構成する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでスタンダード バリュー アイテムまたは個々のアイテムを 選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [設定] タブをクリックします。



3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [設定] タブで、 [アピアランス (外観と動作)] セクショ ンで [ツリー ノード スタイルを設定] をクリックすると、[ツリー ノード スタイル] ダイアログが表示されます。

グリー ノード 現在のアイテム CSS スタイルを	<b>スタイル</b> 、をコンテンツ 更用します。	ッリーにどのよ	とうに表示するかる	を定義するために
				*
				· 編集
プレビュー:				
		ホーム		
			ОК	キャンセル

4. [ツリー ノード スタイル] ダイアログの [スタイル ダイアログ] で、CSS スタイルを入力するか、または [編集] を クリックし、 [Web CSS Editor] ダイアログを使用します。たとえば、COLOR:red; と入力してフォントの色 を赤に設定します。

Font:	1	Font style:		Size:	
	_			_	_
(Default Font) Arial Arial (fantasy) Arial Black Blackadder ITC	•	Normal Italic Oblique Bold Bold Italic	* III +	10px .5in 2mm 1em 8pt	Î.
Color:	🗖 Dis	able Color			
Effects					
Underline	Sm	all Caps			
Strikethrough	🗌 AI	l Caps			
Overline	🗌 Ca	pitalize			
Blink	📃 Hi	dden			
No text decoration					
Preview					
AaB	bYyGgI	IJj			
			Ok	Ca	ancel

#### メモ

Sitecore は COLOR: green をシステム アイテムに、COLOR: gray をプロキシー シャドー アイテムに使用します。これ らのツリー ノード スタイルを他の目的に使用しないでください。



### 3.1.5 表示名

アイテムの表示名を定義するとコンテンツ ツリーなどのユーザー インター フェースにアイテム名に代わって表示されます。<sup>2</sup> 開発者は次のために表示名を使用することができます:

- コンテンツ アイテムのデフォルト URL に影響を及ぼすことなく、コンテンツ ツリーでわかりやすいアイテムの名前を 表示する
- アイテム名に使用できない文字を使った名前をコンテンツッリーに表示する

#### 注意

表示名はアイテム名で使用できない文字を表示させる必要がある場合など、限られた場合に使用してください。

#### アイテムへの表示名の設定方法

アイテムに表示名を設定する方法:

- 1. コンテンツ エディターまたはテンプレート マネージャーでアイテムを選択します。
- 2. コンテンツ エディターまたはテンプレートマネージャーで [ホーム] タブをクリックします。
- 3. **コンテンツ エディター**またはテンプレート マネージャーで [ホーム] タブの [名前の変更] グループで [表示 名] をクリックします。表示名のダイアログが表示されます。
- 4. 表示されたダイアログ ボックスにアイテムの表示名を入力します。

# 3.1.6 コンテキスト ヘルプ

編集インターフェイスは選択されたアイテムとそのデータ テンプレートに関する役立つ情報を表示することができます。 開発者は次のためにコンテキストヘルプを使用することができます:

- 特定のデータ テンプレートに基づくアイテムを扱うユーザーに役立つ情報を提供する
- 特定のアイテムを扱うユーザーに役立つ情報を提供する

アイテム タイトル バーはアイテムのヘルプ プロパティまたはデータ テンプレートで定義された短い説明を表示します。コンテン ツ ツリーでマウスをアイテムの上に移動したとき、Sitecore はアイテムまたはそのテンプレートの長い説明をツールティップとし て表示します。

開発者がアイテムのヘルプ プロパティを定義していない場合、Sitecore はアイテムのデータ テンプレートに定義されたヘル ププロパティを使用します。

#### アイテムのコンテキスト ヘルプの設定方法

コンテキスト ヘルプをデータ テンプレートまたは個々のアイテムに設定する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**でスタンダード バリュー アイテムまたは個々のアイテムを 選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [設定] タブをクリックします。

<sup>2</sup>URLの表示名の使用については

<u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Dynamic%20Links.aspx</u>から『動的リンク』 を参照してください。



3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [設定] タブの [アピアランス (外観と動作)] グルー プで [ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ テキスト] ダイアログ ボックスが表示されます。

Sitecore Web	ペーシタイアログ		
現在のアイテ	<b>スト</b> ムのヘルブ テキスト	を記述します。	
概要 (ツールティップ)	:		
1988:			
			*
			Ŧ
ヘルブ リンク:			
例: http://www.siteco	re.net/Product.aspx		
		ОК	キャンセル

- 4. [概要 (ツールティップ)] フィールドで、アイテムのタイプまたは個々のアイテムの短い説明を入力します。
- 5. [説明] フィールドで、アイテムのタイプまたは個々のアイテムの長い説明を入力します。



# 3.2 データ テンプレートのセクション

各データ テンプレートには 1 つまたは複数のセクションがあり、各セクションには 1 つまたは複数のフィールドがあります。開 発者はデータ テンプレートのセクションを使用して、フィールドを関連グループに整理することができます。フィールドをセクショ ンに整理することで、巨大な単一のデータ入力フォームでなく、使わないセクションはユーザーが折りたたむことができるように なります。開発者はデータ テンプレート セクションを使用してその中にフィールドのグループを含めることにより、複数のデータ テンプレートで再利用することができます。

多くのセクションをもつデータ テンプレートや多くのフィールドをもつセクションは、ユーザビリティやパフォーマンスに悪影響を与 える場合があります。パフォーマンスを向上させるには多くのリッチ テキスト エディター フィールドをもつデータ テンプレートの 作成を避けることが非常に重要です。代わりに、開発者は他のフィールド タイプを使うか、別のデータ テンプレートに関連 付けられたアイテムの階層を使ったデータを使用することができます。

論理的に整理されたデータ テンプレートのセクションとフィールドはユーザーが更新するフィールドを見つけるのに役立ちます。 プレゼンテーション コンポーネントがページビューでフィールド値をレンダリングするのと同じ順序でセクションとフィールドを並べ ることを検討してください。または、最も重要または最も頻繁に更新されるセクションとフィールドをデータ テンプレートの最上 部に配置するようにします。

適切なデータ テンプレート セクションとフィールド名の使用はユーザーが更新するフィールドを見つけるのに役立ちます。たと えば、ニュース記事のためのデータ テンプレートが著者や日付などのわずかな数のフィールドのみを定義している場合、それ らのフィールドをニュースという名前のセクションに配置し、このセクション名をニュース記事に関係のないフィールドのセクション 名に使わないようにします。"データ" などのような汎用的なセクション名は、テンプレート上に数値フィールドが含まれている と解釈されない場合があります。

データ テンプレートとそのベース テンプレートのいずれかが共通の名前のセクションを定義している場合、コンテンツ エディタ ーはそのセクションのすべてのフィールドを単一のビジュアル セクションとしてレンダリングします。セクションとフィールドの並べ替 え順序プロパティがテンプレートの他のセクションに対する相対的な順序を制御します。

# 3.2.1 データテンプレートのセクションのアイコン

コンテンツ エディターでデータ テンプレート セクションのヘッダーには各データ テンプレート セクションに関連付けられたアイコ ンが表示されます。開発者がデータ テンプレート セクションのアイコンを指定することで、ユーザーは更新するフィールドを簡 単に見つけることができます。

#### メモ

データ テンプレートのセクション定義アイテムがアイコンを指定していない場合、Sitecore は web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の value 属性で指定された DefaultIcon という名前のアイコンを表示します。

# 3.2.2 データ テンプレートのセクションのアイコンの設定方法

データ テンプレートのセクションにアイコンを設定する方法:

1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート セクション定義アイテムを選択しま す。



2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの、データ テンプレート セクション定義アイテムでアイコン を設定します。アイテムにアイコンを設定する方法は「アイテムへのアイコンの設定方法」のセクションを参照してく ださい。

# 3.2.3 データ テンプレートのセクションの並べ替え順序

テンプレート ビルダーを使うか、またはデータ テンプレート セクション定義アイテムの並べ替え順序プロパティを設定すること により、データ テンプレートのセクションを整理することができます。

۶Ł

データ テンプレートとそのベース テンプレートが別のデータ テンプレート セクションを定義している時にセクションの順序を制御するには、データ テンプレート セクション定義アイテムの並べ替え順序プロパティを設定します。

### データ テンプレートのセクションの並べ替え方法

データ テンプレートのセクションを並べ替える方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでデータ テンプレート定義アイテムを選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの、[編集] ウィンドウで [ビルダー] タブをクリックします。 [テンプレート ビルダー] が表示されます。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [ビルダー オプション] タブをクリックします。
- 4. テンプレート ビルダーで、セクション名をクリックしてセクションを選択します。
- 5. テンプレート ビルダーの [フィールドの並べ替え] グループで [上へ移動]、[下へ移動]、[最初に移動]、 [最後に移動] をクリックしデータ テンプレートの他のセクションとの相対的な位置を並べ替えます。

#### データ テンプレート セクション定義アイテムの並べ替え順序プロパティの設定方法

データ テンプレート セクション定義アイテムの並べ替え順序プロパティを設定する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート セクション定義アイテムを選択しま す。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [スタンダード フィールド] を表示します。 スタンダード フィールドを表示する方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを参照 してください。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [アピアランス (外観と動作)] セクションの[並べ替 え順序] フィールドで、数値を入力します。
- 4. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを非表示にします。 スタンダード フィールドを非表示にする方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを 参照してください。



# 3.3 データ テンプレート フィールド

このセクションで説明されている機能を使って、データテンプレートフィールドのユーザビリティを最適化することができます。

# 3.3.1 データ テンプレート フィールドのヘッダーとコンテキスト ヘルプ

コンテンツ エディターは各フィールドの上にフィールド ヘッダーを表示します。開発者はフィールド値を取り扱うユーザーにフィ ールド ヘッダーを使って文脈に応じた指示と情報を提供します。

各フィールド ヘッダーには下記の要素が含まれます:

- フィールド タイトル。これはフィールド名のデフォルトとなります。
- フィールドがスタンダード バリュー を含んでいる場合、[standard value] トークン。
- フィールドがすべての言語のすべてのバージョンで共有する値を含んでいる場合、[shared] トークン。
- フィールドがバージョン管理されていないが、言語によって異なる値を含んでいる可能性がある場合、 [unversioned] トークン。
- フィールド タイプに適切なフィールド編集コントロール。

ユーザーがマウスをフィールド タイトルの上に移動させたとき、フィールドの長い説明が表示されます。 ヘルプ リンクを定義するフィールドには、フィールド ヘッダーのタイトルと短い説明が指定された URL にリンクします。

#### データ テンプレート フィールドのタイトルの設定方法

データ テンプレート フィールドにタイトルを設定し、コンテンツ エディターのフィールド ラベルをフィールド定義アイテムの名前と 異なるものにする方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート フィールド定義アイテムを選択しま す。
- 2. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**の [**データ**] セクションの [**タイトル**] フィールドで、フィー ルドのタイトルを入力します。

#### データ テンプレート フィールドにコンテキスト ヘルプを設定する方法

コンテキスト ヘルプをデータ テンプレート フィールドに設定する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート フィールド定義アイテムを選択しま す。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [設定] タブをクリックします。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [アピアランス (外観と動作)] グループで [ヘルプ] をクリックすると、 [ヘルプ テキスト] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4. [ヘルプ テキスト] ダイアログ ボックスの [概要 (ツールティップ)] フィールドで、フィールドの短い説明を入力します。
- 5. [説明] フィールドで、フィールドの長い説明を入力します。
- 6. [ヘルプ リンク] フィールドで、フィールドに関する役立つ情報を含むリソースの URL を入力します。



# 3.3.2 データ テンプレート フィールドのスタイルの設定方法

データ テンプレート フィールドにスタイルを設定する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート フィールド定義アイテムを選択しま す。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [設定] タブをクリックします。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [アピアランス (外観と動作)] グループで [ツリー ノ ード スタイルを設定] をクリックすると、[ツリー ノード スタイル] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4. [ツリー ノード スタイル] ダイアログ ボックスで、CSS スタイルを入力するか、または [編集] ボタンをクリックし CSS スタイル ウィザードを使用します。たとえば、HEIGHT:600px; と入力してリッチ テキスト エディターの 高さを設定したり、FONT-WEIGHT:bold; と入力して単一行テキスト フィールドのテキスト スタイルを設定 します。

# 3.3.3 データ テンプレートのフィールドの並べ替え順序

データ テンプレート フィールド定義アイテムの並べ替え順序プロパティを明示的に設定し、データ テンプレートとそのベーステンプレートが同じデータテンプレートセクションを定義しているときのフィールドの順序を制御します。

### データテンプレートのフィールドの並べ替え方法

データテンプレートフィールドを並べ替える方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでデータテンプレート定義アイテムを選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで、[編集] ウィンドウで [ビルダー] をクリックします。[テ ンプレート ビルダー] が表示されます。
- 3. テンプレート ビルダーで、フィールド名をクリックしてフィールドを選択します。
- F>プレートビルダーの [フィールドの並べ替え] グループで [上へ移動]、[下へ移動]、[最初に移動]、[最 後に移動] をクリックし、セクションの他のフィールドとの相対的なフィールドの位置を並べ替えます。

#### データ テンプレート フィールド定義アイテムの並べ替え順序プロパティの設定方法

データ テンプレート フィールドの並べ替え順序プロパティを設定する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート フィールド定義アイテムを編集しま す。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを表示します。 スタンダード フィールドを表示する方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを参照 してください。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの[アピアランス (外観と動作)] セクションの[並べ替え 順序] フィールドで、数値を入力します。
- 4. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを非表示にします。 スタンダード フィールドを非表示にする方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを 参照してください。



# 3.3.4 リッチ テキスト エディター (RTE) の構成

リッチ テキスト エディター (RTE) のプロファイルはリッチ テキスト エディターのフィールドで利用可能な機能を制御します。 開発者は次のために RTE プロファイルを使用します:

- RTE フィールドから機能を削除する。
- RTE フィールドのデフォルト機能を有効にする。
- RTE フィールドの異なる機能を異なるユーザーに対して表示する。
- RTE フィールドのドロップダウン メニューと他のオプションを構成する。
- RTE フィールドにカスタム機能を追加する。
- 異なるデータ テンプレートと単一のテンプレートの異なる RTE フィールドで異なる機能を利用可能にする。

開発者は各 RTE フィールド定義アイテムのソース プロパティを使って RTE プロファイルを参照することができます。 Sitecore は RTE プロファイルを Core データベースの /Sitecore/System/Settings/Html Editor Profiles の下に保存します。開発者が RTE フィールドにソース プロパティを定義しない場合、Sitecore は /Sitecore/System/Settings/Html Editor Profiles/Rich Text Default RTE プロファイルを 適用します。

各 RTE プロファイルに存在する定義アイテムだけがそのプロファイルを使っているフィールドに表示されます。RTE プロファイ ルの定義アイテムにアサインされているアクセス権が、ユーザーの RTE 機能へのアクセスを制御します。

#### ヒント

一貫性、アクセシビリティ、再利用のために、デザインをプレゼンテーションから分離します。コンテンツとスタイリング (CSS ス タイルなど) やプレゼンテーション (HTML テーブルやイメージ) を結合してしまうと、RTE フィールドはこの目的を達成できま せん。RTE フィールド タイプの使用を最小化することに加え、各 RTE フィールドで RTE プロファイルを使って利用できる機 能を最小化します。

# RTE プロファイル定義アイテム リファレンス

次のテーブルは RTE プロファイル定義アイテムで使用されるアイテムを説明しています。

Path	機能
/Buttons/HTML View	HTML タブを RTE の最後に表示するかを制御する
/Class Translation	RTE に切り貼りされたコンテンツのスタイリング情報を対応する CSS スタイルにマッピングする
/Font Names	フォント名のドロップダウン メニューを作成する
/Font Sizes	フォントサイズのドロップダウン メニューを作成する
/Links	カスタム リンクのドロップダウン メニューを作成する
/Paragraphs	要素のドロップダウン メニューを作成する



Path	機能
/Ribbon	ページ エディターのリボン フォーマットを制御する
/Snippets	Snippets 機能を作成する
/Tidy	この Path は使われなくなりました
/Toolbar 1	第一ツール バーのオプションを制御する
/Toolbar 2	第二ツール バーのオプションを制御する
/Toolbar 3	第三ツール バーのオプションを制御する
/WebEdit Buttons	ページ エディターのインライン編集時にフィールドの下に表示するフ
	オーマット ボタンを制御する
/Zoom	ズーム ドロップダウン メニューを作成する

### RTE プロファイルの構成方法

RTE プロファイルを構成する方法:

- Sitecore デスクトップで Core データベースを、コンテンツ エディターで Core データベースを使用し、 /Sitecore/System/Settings/Html Editor Profiles アイテムを選択します。Sitecore デ スクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップでのデータベースの選択方法」のセクションを 参照してください。
- 2. Sitecore デスクトップで Core データベースを使い、コンテンツ エディターで各カスタム RTE プロファイル定義 アイテムの下で、すべてのユーザーには不要なオプションを削除します。item:read アクセス権を使って他のオ プションを表示するかどうかを制御します。
- 3. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。データベースを選択する方法は「Sitecore デス クトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。

#### 重要

Core データベースの /Sitecore/System/Settings/Html Editor Profiles アイテムの下にあるデフォルトの RTE プロファイルを編集しないでください。それの方法に代えて、既存の RTE プロファイルを複製し、そのプロファイルを 使用する RTE データ テンプレート フィールド定義アイテムを構成します。

ヒント

デフォルト RTE プロファイルを編集することなく構成するには、または各 RTE フィールド定義のソース プロパティにそのプロフ ァイルを指定することなく構成するには、デフォルト RTE プロファイルを複製しバックアップを作成してからオリジナルを編集し ます。

# RTE プロファイルへの Path の判定方法

RTE プロファイルへの Path を判定する方法:



- 1. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用して、コンテンツ エディターで RTE プロファイル定義アイテ ムを選択します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップでのデータベ ースの選択方法」のセクションを参照してください。
- 2. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用して、コンテンツ エディターで RTE プロファイル定義アイテ ムへの Path を Windows クリップボードにコピーします。アイテムの Path を Windows クリップボードにコピ ーする方法は「アイテムの ID または Path を Windows クリップボードにコピーする方法」のセクションを参照 してください。
- 3. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。データベースを選択する方法は「Sitecore デス クトップでのデータベースの選択方法」セクションを参照してください。

#### RTE テンプレート フィールド定義アイテムのプロファイルを設定する方法

RTE テンプレート フィールド定義アイテムのプロファイルを設定する方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで RTE フィールド定義アイテムを選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [データ] セクションの [ソース] フィールドで、RTE プロファイルへの Path を入力します。

#### RTE プロファイルの機能の追加方法

RTE プロファイルの機能を追加する方法:

 /Sitecore/System/Settings/Html Editor Profiles/Rich Text Full RTE プロファイ ル定義から機能をコピーします。

#### RTE フィールドで使われる CSS を設定する方法

すべての RTE フィールドの [CSS Class を適用] ドロップダウンの作成に使用する CSS (Cascading Style Sheet) ファイルを設定する方法:<sup>3</sup>

- 1. リッチ テキスト エディターを閉じます。
- web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name WebStylesheet で、value 属性に CSS ファイルの IIS Web サイトのドキュメント ルートへの相対 Path を設定します。
- 3. リッチ テキスト エディターを開いて変更を確認します。

#### RTE フィールドで表示する CSS スタイルを制限する方法

CSS import ディレクティブを使って RTE の [CSS Class を適用] のドロップダウン メニューにスタイルが表示されないようにすることができます。

この [CSS Class を適用] ドロップダウン メニューは web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name WebStylesheet の value 属性

<sup>3</sup>RTE に異なる CSS をロードするための情報は

<u>http://sdn.sitecore.net/Scrapbook/Dynamically%20loading%20web%20stylesheets%20in%20RTE.aspx</u>を 参照してください。



で指定された CSS ファイルで定義されたスタイルを含みます。

多くの Web サイトは RTE のコンテンツに関係のない CSS スタイルを使っています。CSS import ディレクティブを使って RTE の [CSS Class を適用] のドロップダウンにこれらのスタイルが表示されないようにすることができます。

たとえば、ユーザーは RTE のコンテンツに適用できるスタイルを contentstyles.css ファイルに配置し、 WebStylesheet 設定にそのファイルのドキュメント ルートへの相対 Path を設定します。RTE に表示されないようにする スタイルを同じディレクトリの sitestyles.css ファイルに配置し、レイアウトでそのファイルを参照します。 sitestyles.css で contentstyles.css を次のような CSS import ディレクティブを使ってインポートしま す:

@import url (contentstyles.css) ;

contentstyles.css で定義されたスタイルだけが RTE に表示されます。プレゼンテーション コンポーネントは sitestyles.css と contentstyles.css で定義されたスタイルを使うことができます。

#### 注意

RTE は CSS import ディレクティブをサポートしません。web.config の WebStylesheet 設定で指定された CSS ファイルによってインポートされた CSS ファイルで定義されたスタイルは RTE に表示されません。

#### 注意

さまざまレベルでのキャッシュにより、CSS ファイルの変更はブラウザ上で即時には表示されないかも知れません。CSS ファイルの変更が表示されない場合は、次の操作を順に変更が表示されるまで行ってください。リッチ テキスト エディターをリロード す る 。ブ ラ ウ ザ キ ャ ッ シ ュ を ク リ ア す る 。IIS を 再 起 動 す る 。 web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name WebStylesheet の value 属性を変更する。

#### RTE HTML 要素 タイプ ドロップダウン メニューを構成する

RTE にリストされる HTML 要素タイプを構成する方法:

- 1. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用し、**コンテンツ エディター**で RTE プロファイル定義アイテムを 選択します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップでのデータベースの 選択方法」のセクションを参照してください。
  - 2. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用し、コンテンツ エディターで RTE プロファイル定義アイテム の下で /Paragraphs を選択します。
  - Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで、HTML 要素定義アイテムを /System/Html Editor Profiles/Html Editor List Item データテンプレートを使用して挿入します。
  - 4. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで HTML 要素定義アイテ ムを選択します。
  - 5. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。 **コンテンツ エディター**で、[データ] セクションの [へ ッダー] フィールドの要素ドロップダウンで表示する値を入力します。
  - 6. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで、新規アイテムの[データ] セクションの [値] フィールドで、ユーザーがこの要素タイプを選択した時に挿入する HTML 要素を入力します。
  - 7. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。データベースを選択する方法は「Sitecore デス



クトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。

#### RTE プロファイルで Snippet を有効化する方法

RTE プロファイルで Snippet を有効化する方法:

- Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Html Editor Profiles/Rich Text Full/Toolbar 1 アイテムを選択します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップでの データベースの選択方法」のセクションを参照してください。
- 2. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。 コンテンツ エディター で Insert Snippet ア イテムを RTE プロファイルの対応する場所にコピーします。
- 3. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。データベースを選択する方法は「Sitecore デス クトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。

### RTE プロファイルに Snippet を追加する方法

RTE プロファイルに Snippet を追加する方法:

- Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Html Editor Profiles 分岐の中で関連する RTE プロファ イル定義アイテムの下の Snippets アイテムを選択します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する 方法は「Sitecore デスクトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。
- コンテンツ エディターで関連する RTE プロファイル定義アイテムの中で Snippet アイテムを選択したままで、 Snippet 定義アイテムを /System/Html Editor Profiles/Html Editor Snippet データ テンプレートを使って挿入します。
- 3. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで、Snippet 定義アイテムの [データ] セクションの [ヘッダー] フィールドで Snippet ドロップダウン リストで表示するテキストを入力します。
- 4. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで Snippet 定義アイテムの [データ] セクションの [値] フィールドでユーザーが Snippet を選択したときに挿入するマークアップを入力しま す。
- 5. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択す る方法は「Sitecore デスクトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。

#### エンター キーで挿入されたマークアップを制御する方法

web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name HtmlEditor.LineBreakのvalue 属性が、ユーザーがEnter キーを押したときにリッチ テキスト エディターが挿 入するマークアップを制御します。デフォルトではこの settingのvalue は p で、リッチ テキスト エディターがテキス トをパラグラフ要素で囲みます ("...")。行の最後でテキストをパラグラフ要素で囲むのでなく、改行要素 ("<br>")を挿入するには、この設定の値を br に変更します。



#### メモ

/configuration/sitecore/settings/setting 要素の name HtmlEditor.LineBreak の value が p である場合、改行の要素 (<br>) を Ctrl-Enter を入力して挿入できます。この設定の値が br で ある場合、パラグラフ要素 (...) を Ctrl-M を入力して挿入できます。

#### RTE HTML タブをあるユーザーまたはすべてのユーザーに対して無効にする方法

すべての CMS ユーザーの HTML タブを RTE から削除したり、アクセス権を使ってどのユーザーが HTML タブをアクセス できるかを制御できます。

RTE から HTML タブを削除または制限する方法:

- 1. Sitecore デスクトップで **Core** データベースを使用します。コンテンツ エディター で RTE エディター プロファイ ル定義アイテムを選択します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップ でのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。
- 2. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで /Buttons/HTML View アイテムへの読み取りアクセス権を削除または制限します。
- 3. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択す る方法は「Sitecore デスクトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。



# 3.4 データ テンプレートのカスタム ユーザー インターフェイス

Sitecore が必要なデータ テンプレート ユーザー インターフェイスを提供していない場合、データ テンプレートにカスタム ユ ーザー インターフェイスを実装することができます。

# **3.4.1 IFrame フィールドタイプ**

開発者は IFrame データ テンプレート フィールド タイプを使ってコンテンツ エディターでアイテムを取り扱う時に任意の Web アプリケーションをデータ テンプレート フィールドのように見せることができます。 開発者は次のために IFrame フィールド タイプを使うことができます:

- シンプルなカスタム フィールド エディターをデータ テンプレートに追加する。
- レポートと他のカスタム アプリケーションをデータ テンプレートに追加する。

IFrame タイプのフィールドがフィールド定義アイテムのソース プロパティで指定された URL をコンテンツ エディターの IFrame にロードする。Sitecore は次のクエリ文字列パラメーターを URL に追加します。

パラメーター	機能
id	ユーザーに選択されたアイテムの GUID
la	ユーザーに選択された言語コード
VS	ユーザーに選択されたバージョン数

開発者は追加のクエリ文字列パラメーターを IFrame フィールド定義アイテムのソース プロパティに指定された URL に追加することによってさらに追加の変数を渡すことができます。

# IFrame データ テンプレート フィールドの作成方法

IFrame データ テンプレート フィールドを作成する方法:

- 1. Visual Studioの Web アプリケーション プロジェクトで iframe で表示するユーザー インターフェイスを含む Web ページを作成します。IFrame フィールドに渡されるクエリ文字列パラメーターについての詳細は 「IFrame フィールドタイプ」のセクションを参照してください。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでデータ テンプレート定義アイテムを選択します。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで、[編集] ウィンドウで [ビルダー] タブをクリックします。 テンプレート ビルダーが表示されます。
- 4. テンプレート マネージャーで IFrame タイプのフィールドを追加しデータ テンプレートをセーブします。<sup>4</sup>
- 5. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでセクション定義アイテムを展開し、IFrame データ テン

⁴フィールドの追加方法については

<sup>&</sup>lt;u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Data%20Definition%20Reference.aspx</u>から『データ定義リファレンス マニュアル』を参照してください。



プレート フィールド定義アイテムを選択します。

6. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの[データ] セクションの[ソース] フィールドで、先に作成 された IFrame ユーザー インターフェイスを含む Web ページの URL を入力します。

# 3.4.2 アイテム エディター

アイテム エディターはコンテンツ エディターでアイテムを取り扱う方法に代わるユーザー インターフェイスを定義します。 開発者は次のためにカスタム アイテム エディターを実装することができます:

- 特定のアイテムまたは特定のデータ テンプレートに基づくアイテムのために機能する任意のアプリケーションを 提供する
- 個々のアイテムまたは特定のデータ テンプレートに基づくアイテムのためのサマリー、レポート、またはその他の インターフェイスを提供する
- アイテムの階層構造を更新するための単一のユーザー インターフェイスを提供する

アイテム エディターはユーザーがアイテムを選択したときにコンテンツ エディターのタブのように表示されます。コンテンツ エディ ターの各タブによってそれぞれ別のアイテム エディターが起動します。開発者は任意の数のアイテムエディターをアイテムまた はデータ テンプレートに関連付けることができます。各データ テンプレートのスタンダード バリュー アイテムがそのテンプレート に関連付けられたすべてのアイテムのためのデフォルトのアイテム エディターを定義します。

すべてのアイテムのためのデフォルトのエディターはコンテンツ エディターの [**コンテンツ**] タブとして表示されます。このインター フェイスはアイテムのデータ テンプレートとそのベース テンプレートによって定義されたセクションにグループ化されたフィールド エディット コントロールを示します。

Sitecore はデフォルトでさまざまなアイテム エディターを特定のタイプのアイテムに関連付けます。フォルダーのフォルダー ア イテム エディターが [**フォルダー**] タブにリストされる既存の子アイテムと新しい子アイテムを作成するオプションを定義します。 データ テンプレートのビルダー アイテム エディターが、テンプレートを構成するデータテンプレート セクションとフィールドを取り 扱うための [**ビルダー**] タブを定義します。

アイテム エディターは URL でアドレスできる Web アプリケーションです。Sitecore はアイテム エディターを Core データベー スの /Sitecore/Content/Applications/Content Editor/Editors で管理します。

Sitecore は次のクエリ文字列パラメーターをアイテムエディターに渡します。

パラメーター	機能
id	ユーザーに選択されたアイテムの GUID
language	ユーザーに選択された言語コード
version	ユーザーに選択されたバージョン数
database	ユーザーに選択されたアイテムを含むデータベース名

#### メモ

エディター定義アイテムの [データ] セクションの [URL] フィールドに指定された URL にクエリ文字列パラメーターを追加



することによって追加の変数を渡すことができます。

#### メモ

アイテム エディターは Sitecore の以前のバージョンの [編集] プロパティに優先します。

### アイテム エディターの構成方法

アイテム エディターを構成する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**でスタンダード バリュー アイテムまたは個々のアイテムを 選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [設定] タブをクリックします。
- 3. テンプレートマネージャーまたはコンテンツ エディターの [設定] タブの [アピアランス (外観と動作)] グルー プで [カスタム エディターを設定] をクリックすると、[カスタム エディター] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4. [カスタム エディター] ダイアログ ボックスの [すべて] フィールドで枝を展開し、アイテム エディターをダブルクリッ クしてそれを [選択済み] リストに追加します。
- 5. アイテム エディター タブの順序を変更するには、カスタム エディター ダイアログの [選択済み] フィールドでアイテム エディターを選択し、右にある矢印をクリックして項目を並べ替えます。
- 6. アイテム エディターを削除するには [**カスタム エディター**] ダイアログ ボックスの [選択済み] リストでアイテム エディターをダブルクリックします。

#### カスタムのアイテムエディターの作成方法

カスタムのアイテムエディターを作成する方法:

- 1. Visual Studio の Web Applicatoin プロジェクトでカスタムのアイテム エディター ユーザー インターフェイス を含む Web ページを作成します。<sup>5</sup>
- Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで /Sitecore/Content/Applications/Content Editor/Editors/Items アイテムを選択し ます。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップでのデータベースの選択 方法」のセクションを参照してください。
- 3. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターで /Sitecore Client/Content Editor/Editor データテンプレートを使用して、アイテム エディター定義アイテムを 挿入します。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップでのデータベース の選択方法」のセクションを参照してください。
- 4. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。 コンテンツ エディター でアイテム エディター定義アイ テムで、[データ] セクションの [ヘッダー] フィールドで、コンテンツ エディターがアイテム エディターを起動するタ ブに表示する値を入力します。
- 5. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。コンテンツ エディターでアイテム エディター定義アイ

5カスタムエディターに渡されるクエリ文字列パラメーターについての詳細は

<u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Content%20Reference.aspx</u>を参照してく ださい。



テムで、[データ] セクションの [アイコン] フィールドで、アイテム エディターを起動するタブに表示するアイコンを 入力します。

- 6. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。 **コンテンツ エディター**でアイテム エディター定義アイ テムで、[**データ**] セクションの [**URL**] フィールドで、先に作成されたアイテム エディター ユーザー インターフェイ スを含む Web ページの URL を入力します。
- 7. Sitecore デスクトップで Core データベースを使用します。 **コンテンツ エディター**でアイテム エディター定義アイ テムの [**データ**] セクションで、アイテム エディター定義アイテムをセーブします。
- 8. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。



# 3.5 挿入オプション

挿入オプションはユーザーが既存のアイテムの下に挿入できるアイテムのタイプを制御します。<sup>6</sup> 開発者は次のために挿入オプションを適用することができます:

- ユーザーが既存のアイテムの下に適切なタイプのアイテムを作成できるようにする
- ユーザーが既存のアイテムの下に作成できるアイテムのタイプを制限する
- 既存のアイテムの下にユーザーごとに異なるタイプのアイテムを作成できるようにする
- ユーザーがユーザー インターフェイスを使っていくつかのアイテムを一度に作成できるようにする
- アイテムをプログラムから作成できるようにする。たとえば、ウィザードを起動するなど

<sup>6</sup> 挿入オプションについての詳細は

<sup>&</sup>lt;u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Data%20Definition%20Reference.aspx</u>から『データ定義リファレンスマニュアル』、また

<sup>&</sup>lt;u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Data%20Definition%20Cookbook.aspx</u>から『データ定義クックブック』を参照してください。



# 3.6 アイテム サムネイル

アイテム サムネイル ツールを使用して Sitecore のコンポーネントが Web サイトに表示される状態のスクリーンショットを取 得することが可能です。サムネイル画像を作成することにより、開発者に対して利用可能なコントロールについての分かりや すい情報を提供することができます。たとえば、[レンダリングの選択] や [レイアウトのプリセット] などのダイアログ ボックスで利 用可能なコンポーネントのプレビューを表示することが可能です。

アイテム サムネイルを作成する方法:

- 1. コンテンツ エディターのリボンの [表示] タブで、[スタンダード フィールド] のチェック ボックスをオンにします。
- 2. 適切なアイテムを選択します。たとえば、[サイド メニュー] レンダリングを選択します。 /sitecore/layout/Renderings/Starter Kit/Side Menu
- 3. [サイド メニュー] アイテムで [アピアランス (外観と動作)] セクションの [サムネイル] フィールドに移動します。
- 4. [スクリーンショットを取得]をクリックしてスクリーンショット ツールを開きます。

スクリーンショットを取得 スクリーンショットを取得し1	てサムネイルを作成する	
アイテム URL L: デ ズ Devices スクリーン	2/content/Home/Products /Default ジョットを取得	×
木ーム 製品情報 1 オーム 製品情報 オーム・製品情報 ホーム・製品情報	サービス         あ客様の声         社員紹介         ニュース         採用條幅         あ間い合わせ         会社帳         9 空道           ・          ・         <	승니 것같         응           승니 것같         응           승니 것같         용           128 × 128         용
<ul> <li>製品情報</li> <li>● 家意向け製品</li> <li>● 法人向け製品</li> <li>● ホノート向け製品</li> </ul>	製品 製品を販売する部署で仕事をしているのであれば、製品セクションのカジログをご覧ください。 このデモセクションでは、製品カジログの補軽を表示するよりになっています。 変成合い+製品	32x32 24x24 16x16
前を付けて保存		

- 5. [アイテム] ドロップダウンを使用してコンテンツ ツリーの中のアイテムを選択します。たとえば、製品のページの [サ イド メニュー] のスクリーンショットを取得するためには、コンテンツ ツリーで [製品] アイテムを選択します。
- 6. [デバイス] ドロップダウン メニューで [デフォルト] を選択します。
- 7. [スクリーンショットを取得] をクリックします。
- 8. 四角形のトリミング領域を使用してこのページで表示されるサイド メニューをトリミングすることが可能です。また スライダー コントロールを使用してズームを行うことが可能です。
- 9. [OK]をクリックして選択します。
- 10. [保存]をクリックしてしてアイテムへの変更を保存します。



#### УŦ

スクリーンショット ツールでは、コンテンツ ツリーからアイテムを選択するか、またはアイテムへの URL の Path を入力することが可能です。 URL には次のフォーマットを使用します: http://<サイト名>/<ページ>

ページ エディターでアイテムのサムネイルをプレビューする方法:

- 11. ページ エディターを開きます。
- 12. リボンの [表示] タブで [デザイン変更] チェック ボックスをオンにしてデザイン モードを開始します。
- 13. [ホーム] タブで [コンポーネント] をクリックして、ページで利用可能なプレースホルダーを表示します。
- 14. 利用可能なプレースホルダーの 1 つ、たとえば [右側の列 (column-right)] をクリックして、[レンダリングを選
  - **択**] ダイアログボックスを表示します。



#### メモ

この例で使用しているサイドメニューレンダリングは、すでにこのプレースホルダーに関連付けられたコントロールの1つです。

サムネイルフィールドには次の追加オプションがあります:

- 参照 メディア ブラウザで画像を開く
- メディア ライブラリを開く コンテンツ ツリーの一部としてメディア ライブラリで画像を開く
- 画像を編集 デフォルトの画像エディターで画像を開く
- クリア 画像を削除する
- 更新 アイテムをコンテンツ エディターで再読み込みする

#### ۶Ł

サムネイル ツールで作成したスクリーンショットは Sitecore のメディア ライブラリに .png ファイルとして保存されます。



# **Chapter 4**

# データ検証

この章ではデータ検証を構成する手順について説明します。開発者はデータエントリのルールを徹底させるためにデータ検証を使うことができます。この章には次のセクションがあります。

- 検証の概要
- 検証の種類
- 検証のエラー レベル
- 検証ルールの構成
- 検証コントロールの登録
- カスタム検証コントロール
- 検証アクション



# 4.1 検証の概要

データ検証を構成して Sitecore が無効なデータを取り扱う方法を制御することができます。 クイック アクション バーの検証バーから Sitecore を構成し、ユーザーが [**レビュー**] タブの [**校正**] グループで [**検証**] コ マンドを選択したとき、またはユーザーが特定のワークフロー コマンドを選択したときに、検証ルールを起動させることができま す。

#### メモ

通常、4 種類の検証すべてに同じ検証ルールを選択します。

各データ テンプレート フィールド、またはひとつのデータ テンプレート フィールド タイプのすべてのデータ テンプレート フィールド、または個々のアイテム、またはひとつのデータ テンプレートに基づくすべてのアイテム、またはすべてのアイテム、に対して別の検証コントロールを構成することができます。

#### 重要

各アイテムに対して、Sitecore はアイテムまたはデータ テンプレートに関連付けられたスタンダード バリュー アイテムで定義 されたアイテムの検証ルールおよびグローバル検証ルールを起動します。各データ テンプレート フィールドについて、 Sitecore はデータ テンプレート フィールド定義アイテムで定義された検証ルール、およびデータ テンプレート フィールド タ イプ検証ルール定義アイテムで定義された検証ルールを起動します。システムがひとつのアイテムに対して起動する検証コン トロールの数は使用するサーバーのリソースとクライアントのパフォーマンスに影響があります。

#### 重要

/sitecore/system/Settings/Validation Rules の下のデフォルトの検証コントロール定義アイテムを編 集しないでください。その方法に代えて、検証コントロール定義アイテムを作成して追加の検証コントロールを登録してください。

#### XE

フィールド値の編集を終了した後に、Sitecore は自動的に検証ルールを非同期に起動し、検証が完了した後にユーザー インターフェイスを更新します。web.config の/configuration/sitecore/settings/setting 要素の name Validators.UpdateDelay の value 属性が、編集作業の休止と検証コントロールの起動の間の時間 の長さを制御します。自動で再検証を行う機能を無効にするには、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name Validators.AutomaticUpdate の value 属性を False に設定します。

#### XE

Sitecore のデフォルト構成ではクイック アクション バーの検証は無効になっています。クイック アクション バーの検証を有効にするには [クイック アクション バー] を右クリックして [検証ルール] を選択します。

ヒント

以前のバージョンの Sitecore で利用できるフィールド定義アイテムの [データ] セクションの [検証] と [検証テキスト] フ


ィールドを使用することは避けて、この章に記載するデータ検証機能を使用してください。

Sitecore CMS 6.4 クライアント構成クックブック



### 4.2 検証の種類

各種のデータの妥当性をチェックすることができます。

### 4.2.1 データ テンプレートのフィールド検証

Sitecore を構成して各データ テンプレートの各フィールド コンテンツの検証を行うことができます。

### 4.2.2 フィールド タイプの検証

Sitecore を構成するフィールド タイプのそれぞれのコンテンツの検証を行うことができます。

### 4.2.3 アイテムの検証

個々のアイテムの検証を構成することができます。

### 4.2.4 標準の検証

データ テンプレートのスタンダード バリュー の検証ルールを構成して、データ テンプレートに基づくすべてのアイテムの検証を 構成することができます。

### 4.2.5 グローバル アイテムの検証

すべてのアイテムに適用される検証を構成することができます。



# 4.3 検証のエラーレベル

検証のエラー レベルは検証の結果によって Sitecore が行うアクションを制御します。各検証コントロールは Sitecore.Data.Validators.ValidatorResult に定義されているエラー レベルのひとつを返します。

エラーレベル	UI の色	機能
Unknown	グレー	検証未完了、結果不明
Valid	緑	有効
Suggestion	緑	ユーザー インターフェイスにアドバイスが表示されます
Warning	オレンジ	ユーザー インターフェイスに注意が表示されます
Error	赤	エラーのためユーザーはワークフロー検証に関連付けられたワ ークフロー コマンドを完了できません
CriticalError	赤	ユーザーがアイテムをセーブしようとした際に重大なエラーのた めモーダルな警告表示が発生し、ユーザーはワークフロー検 証に関連付けられたワークフローコマンドを完了できません
FatalError	赤	致命的なエラーのためモーダルな警告表示が発生し、ユー ザーはアイテムをセーブできません



### 4.4 検証ルールの構成

クイック アクション バーの検証バーから Sitecore を構成し、ユーザーが [**レビュー**] タブの [**校正**] グループで [**検証**] コマ ンドを選択したとき、またはユーザーが特定のワークフローコマンドを選択したときに、検証ルールを起動させることができます。

### 4.4.1 クイック アクション バーの検証ルール構成方法

[クイック アクション バー] での検証ルールの起動を構成する方法:

- 1. コンテンツ エディターで次のセクションで記述されているように適切な検証ルール定義アイテムを選択します。
- 2. コンテンツ エディターで [検証] セクションの [クイック アクション バー] フィールドで、検証ルールを選択します。

### 4.4.2 検証ボタンの検証ルールの構成方法

ユーザーが [**レビュー**] タブの [校正] グループの [検証] コマンドをクリックしたときに検証ルールが起動するように構成する 方法:

- 1. コンテンツ エディターで次のセクションで記述されているように適切な検証ルール定義アイテムを選択します。
- 2. コンテンツ エディターで [検証] セクションの [検証ボタン] フィールドで、検証ルールを選択します。

### 4.4.3 検証バーの検証ルールの構成方法

[検証] バーで検証ルールの起動を構成する方法:

- 1. コンテンツ エディターで次のセクションで記述されているように適切な検証ルール定義アイテムを選択します。
- 2. コンテンツ エディターで [検証] セクションの [検証バー] フィールドで、検証ルールを選択します。

۶Ł

web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name ContentEditor.ShowValidatorBarのvalue属性がFalseに設定されている場合は検証バーはコンテン ツェディターには表示されません。

### 4.4.4 ワークフローの検証ルールの構成方法

ユーザーがワークフロー コマンドを選択したときに検証ルールが起動するように構成する方法:

1. コンテンツ エディターで次のセクションで記述されているように適切な検証ルール定義アイテムを選択します。

2. コンテンツ エディターで [検証] セクションの [ワークフロー] フィールドで、検証ルールを選択します。

### 4.4.5 ワークフロー コマンドの作成または状態検証アクションの作成方法

ユーザーがワークフロー コマンドを選択したときに、Sitecore が検証ワークフロー アクションを起動するように構成する方法:

- 1. コンテンツ エディターでワークフロー状態またはコマンドを選択します。
- 2. **コンテンツ エディター**で /System/Workflow/Validation Action データ テンプレートを使用して



検証ワークフロー アクション定義アイテムを挿入します。

- 3. **コンテンツ エディター**で検証ワークフロー アクションの [データ] セクションの [タイプ] フィールドで次の項目を 入力します。
- Sitecore.Workflows.Simple.ValidatorsAction,Sitecore.Kernel.
- 4. コンテンツ エディターで、検証ワークフロー アクションの [データ] セクションの [最大許容範囲] フィールドでワ
   ク フ ロ ー 検 証 ア ク シ ョ ン が 生 成 す る こ と の で き る Sitecore.Data.Validators.ValidatorResult の最大値を入力します。検証がより高い検証 エラー レベルを生成した場合、ワークフロー検証アクションのためにユーザーはワークフロー コマンドを完了させる ことはできません。このフィールドのデフォルト値は Warning です。
- 5. **コンテンツ エディター**で、検証ワークフロー アクションの [データ] セクションの [不明] フィールドで、検証コント ロールが検証の結果として Unknown を返した場合にユーザーに表示するメッセージを入力します。
- 6. **コンテンツ エディター**で、検証ワークフロー アクションの [データ] セクションの [警告] フィールドで、検証コント ロールが検証の結果として Warning を返した場合にユーザーに表示するメッセージを入力します。
- 7. **コンテンツ エディター**で、検証ワークフロー アクションの [データ] セクションの [エラー] フィールドで、検証コン トロールが検証の結果として Error を返した場合にユーザーに表示するメッセージを入力します。
- 8. **コンテンツ エディター**で、検証ワークフロー アクションの [データ] セクションの [**重大なエラー**] フィールドで、検 証コントロールが検証の結果として CriticalError を返した場合にユーザーに表示するメッセージを入 力します。
- 9. コンテンツ エディターで、検証ワークフロー アクションの [データ] セクションの [致命的なエラー] フィールドで、 検証コントロールが検証の結果として FatalError を返した場合にユーザーに表示するメッセージを入力し ます。

# 4.4.6 データ テンプレート フィールド タイプのすべてのインスタンスへの検証ルール構成 方法

- 特定のデータ テンプレート フィールド タイプのすべてのインスタンスに起動する検証ルールを構成する方法:
  - 1. コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Validation Rules/Field Types アイテムを選択します。
  - コンテンツ エディターで既存のデータ テンプレート フィールド タイプの検証ルール定義アイテムを選択するか、 /System/Validation/Field Type Validation Rules データ テンプレートを使用してデータ テンプレート フィールド タイプの検証ルール定義アイテムを挿入します。フィールド タイプの検証定義アイテムの 名前には、フィールド タイプ定義アイテムのデータ セクションのタイプ フィールドに表示されるフィールド タイプの 名前を使用します。
  - 3. **コンテンツ エディター**でデータ テンプレート フィールド タイプの検証ルール定義アイテムの [検証ルール] セクションで、検証ルールを構成します。

### 4.4.7 すべてのアイテムへの検証ルール構成方法

すべてのアイテムへの検証ルールを構成する方法:

• コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Validation Rules/Global Rules



アイテムを選択し、検証ルールを構成します。

# 4.4.8 個々のアイテムまたは特定のデータ テンプレートに基づくすべてのアイテムへの検 証ルールの構成方法

個々のアイテムまたは特定のデータテンプレートに基づくすべてのアイテムへの検証ルールを構成する方法:

- 1. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを表示します。スタンダード フィ ールドを表示する方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを参照してください。
- 2. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**でデータ テンプレートのスタンダード バリュー アイテムを 選択するか、または個々のアイテムを選択します。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで検証ルールを構成します。
- 4. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを非表示にします。スタンダード フィールドを非表示にする方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを参照してく ださい。

### 4.4.9 特定のデータ テンプレート フィールドへの検証ルール構成方法

- 特定のデータ テンプレート フィールドへの検証ルールを構成する方法:
  - 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート フィールド定義アイテムを選択しま す。
  - 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで、[検証ルール] セクションで、フィールド検証ルールを 構成します。

### 4.4.10 デフォルトのアイテム検証コントロール

次のデフォルトの検証コントロールを使用してアイテムの検証ルールを構成することができます。

検証コントロール	機能
Broken Links	無効な参照を識別する
Duplicate Name	同じ親の下で他のアイテムの名前または表示名と同じ名前または 表示名をもつアイテム (大文字と小文字は区別する) を識別する
Full Page XHtml	デフォルトのデバイスを使用してアイテムを要求するアウトプットの有 効性をチェックする
Media Size Too Big	データベース ストレージに直列化するには大きすぎるメディアを識別 する
URL Characters	アイテム名が URL でエスケープ シーケンスを必要とするかチェックす る



#### メモ

XHTML 検証コントロールは XML を web.config の

/configuration/sitecore/settings/setting 要素の name XHtmlSchemaFile の value 属 性で定義されたスキーマに対して検証します。

## 4.4.11 デフォルトのフィールド検証コントロール

次のデフォルトの検証コントロールを使用してフィールドの検証ルールを構成することができます。

検証コントロール	機能
Broken Links	無効な参照を識別する
Is Email	無効な電子メール アドレスを識別する
Is Integer	無効な整数を識別する
Is XHtml	ローカルの XHTML スキーマに対してフィールドの有効性をチェック する
Max Length 40	40 文字以上を含むフィールド値を識別する
Rating 1 to 9	無効な整数、負数、9 より大きな値を識別する
Required	空のフィールドを識別する
Spellcheck	スペリングのエラーを含むフィールドを識別する
W3C XHtml Validation	リモートの W3C 検証サービスに対する無効性を識別する
Alt Required	メディア ライブラリ イメージ データ テンプレートの Alt テキストの欠 落を識別する
Extension May Not Start with a Dot	フィールド名の拡張子にドット文字があるメディア アイテム (それは 無効) を識別する
External Link Target	新しいブラウザ ウィンドウで開きタイトルを提供するリッチ テキスト エ ディター フィールドの外部リンクを識別する
Image Has Alt Text	代替テキストを含まず、代替テキストを含まないメディア アイテムを 参照する、イメージ フィールドを識別する
Image Has Alt Text from Media Library	代替テキストを指定せず、代替テキストを含むメディア アイテムを参 照する、イメージ フィールドを識別する



検証コントロール	機能
Image Size	サイズ制限を超えたメディア アイテムを参照するイメージ フィールドを 識別する
Rich Text Image Size	リッチ テキスト エディターで使われるイメージの幅は web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要 素の name Media.MaxImageWidth の value を超えては ならない

#### メモ

web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name HtmlEditor.ValidatorServiceUrl の value 属性が W3C XHtml 検証で使われる URL を制御します。



### 4.5 検証コントロールの登録

検証ルール定義アイテムを構成してデフォルトの検証コントロールを使うか、またはカスタムの検証コントロールを登録することができます。

#### 重要

Sitecore のユーザー インターフェイスのパフォーマンスを最大化するため、多くのリソース特に処理時間を消費する検証コントロール、たとえば外部サービスを起動するか長時間の処理になる可能性のあるものは、別のスレッドで稼働させることが望ましい方法です。別のスレッドを使用することでシステムはひとつの検証コントロールが完了する前に別の検証コントロールを起動することができます。Sitecore は別の検証コントロールが完了するとユーザー インターフェイスを更新します。

### 4.5.1 検証コントロールの登録方法

フィールド検証コントロールを登録する方法:

- コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Validation Rules/Field Rules アイテムまたは /Sitecore/System/Settings/Validation Rules/Item Rules アイテム の下の適当なプロジェクトに固有のフォルダーを選択します。
- コンテンツ エディターで /System/Validation/Validation Rule データ テンプレートを使って検 証コントロール定義アイテムを挿入します。
- 3. **コンテンツ エディター**で検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [タイプ] フィールドでクラス シ グネチャを入力します。
- 4. **コンテンツ エディター**で検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで、 URL からエスケープ キーを除いたパラメーター値 (アンパサンド文字 ("&") で区切る) を入力します。
- 5. 検証コントロールが別のスレッドで稼働する場合には、コンテンツ エディターで検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションで [スレッドを使用する] を選択します。

### 4.5.2 正規表現フィールド検証コントロールの登録方法

正規表現フィールド検証コントロールを登録する方法:

- 1. フィールド検証コントロールを登録します。検証コントロールを登録する方法は「検証コントロールの登録方法」 のセクションを参照してください。
- 2. **コンテンツ エディター**で検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [タイプ] フィールドで次の.NET タイプのシグネチャを入力します。

Sitecore.Data.Validators.FieldValidators.RegexValidator,Sitecore.Kernel

- 3. **コンテンツ エディター**で検証コントロール定義アイテムの [**パラメーター**] フィールドで下記を入力します。 Pattern=RegularExpression&Text=Message
- 4. **コンテンツ エディター**で検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで RegularExpression を正規表現で置換します。
- 5. コンテンツ エディターで検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで [メッセージ] をフィールドがパターンに合致しない場合に表示するメッセージで置換します。Sitecore はメッセ ージの {0} をフィールド名で置き換えるために String.Format () を呼び出します。



### 4.5.3 整数フィールド検証コントロールの登録方法

整数フィールド検証コントロールを登録する方法:

- 1. フィールド検証コントロールを登録します。検証コントロールを登録する方法は「検証コントロールの登録方法」 のセクションを参照してください。
- 2. **コンテンツ エディター**で検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [タイプ] フィールドで次の.NET タイプのシグネチャを入力します。

Sitecore.Data.Validators.FieldValidators.IntegerFieldValidator, Sitecore.Kernel

3. コンテンツ エディターで検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで下 記を入力します:

AllowNegative=AllowNegative=Boolean&AllowZero=Boolean

4. **コンテンツ エディター**で検証コントロール定義アイテムの [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで Boolean を適宜、True または False で置換します。

### 4.5.4 整数範囲フィールド検証コントロールの登録方法

整数範囲フィールド検証コントロールを登録する方法:

- 1. フィールド検証コントロールを登録します。検証コントロールを登録する方法は「検証コントロールの登録方法」 のセクションを参照してください。
- 2. コンテンツ エディターで検証コントロール定義アイテムを選択します。
- 3. コンテンツ エディターで [データ] セクションの [タイプ] フィールドで次の .NET タイプのシグネチャを入力しま す。

Sitecore.Data.Validators.FieldValidators.IntegerRangeValidator, Sitecore.Kernel

- 4. コンテンツ エディターで [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで次を入力します。 Min=Minumum&Max=Maximum
- 5. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで Minimum をフィールドに許容さ れる最小値で置換します。
- 6. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで Maximum をフィールドに許容さ れる最大値で置換します。

### 4.5.5 最大長フィールド検証コントロールの登録方法

最大長フィールド検証コントロールを登録する方法:

- 1. フィールド検証コントロールを登録します。検証コントロールを登録する方法は「検証コントロールの登録方法」 のセクションを参照してください。
- 2. コンテンツ エディターで検証コントロール定義アイテムを選択します。
- 3. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [タイプ] フィールドで次を入力します。 Sitecore.Data.Validators.FieldValidators.MaxLengthFieldValidator, Sitecore.Kernel
- 4. コンテンツ エディターで [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで次を入力します。 MaxLength=MaximumLength
  - 5. コンテンツ エディターで [パラメーター] フィールドで MaximumLength をフィールドに許容される最大長の 値で置換します。



# 4.5.6 特定のアイテムと特定のテンプレートに基づくアイテムのための検証コントロール の登録方法

特定のアイテムと特定のテンプレートに基づくアイテムのための検証コントロールを登録する方法:

- 1. コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Validation Rules/Item Rules ア イテムを選択します。
- コンテンツ エディターで /System/Validation/Validation Rule データ テンプレートを使って検 証ルール定義アイテムを挿入します。
- 3. コンテンツ エディターで検証ルール定義アイテムを選択します。
- 4. コンテンツ エディターで [データ] セクションの [タイプ] フィールドでクラス シグネチャを入力します。
- 5. **コンテンツ エディター**で、検証ルール定義アイテムの [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで、URL からエスケープ キーを除いたパラメーター値 (アンパサンド文字 ("&") で区切る) を入力します。

### 4.5.7 デフォルトの検証ルールを無効にする方法

すべてのアイテムへのデフォルトの検証ルールを無効にする方法:

- 1. コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Validation Rules/Global Rules アイテムを選択します。
- 2. コンテンツ エディターで [検証ルール] セクションの検証ルールを構成します。
- 3. コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Validation Rules/Field Types アイテムを選択します。
- 4. コンテンツ エディターでフィールド タイプ検証ルール定義アイテムで検証を構成します。
- 5. コンテンツ エディターで /Sitecore/Templates/System/Media アイテムを選択します。
- 6. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを表示します。スタンダード フィ ールドを表示する方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを参照してください。
- メディアに使用するデータ テンプレートのそれぞれにテンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでデ ータ テンプレート定義アイテムを選択します。[編集] ウィンドウで [コンテンツ] タブをクリックし、[検証ルール] セクションで検証を構成します。
- 8. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを非表示にします。スタンダード フィールドを非表示にする方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを参照してく ださい。

#### 重要

アイテム名のどの文字も web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name InvalidItemNameChars の value 属性で指定された正規表現に合致しません。アイテム名は web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name ItemNameValidation の value 属性で指定された正規表現に合致しなければなりません。これらの 2 つの設 定を変更しないでください。



### 4.5.8 検証コントロールのデフォルトのエラー レベルを上書きする方法

検証コントロールのデフォルトのエラーレベルを上書きする方法:

- 1. コンテンツ エディターで検証コントロール定義アイテムを選択します。
- 2. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで次を入力します。 Result=ErrorLevel
- 3. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [パラメーター] フィールドで ErrorLevel を Sitecore.Data.Validators.ValidatorResult のエラー レベルの名前で置換します。

### 4.5.9 検証ルールを実行しない方法

アイテムの検証ルールを個別のコンテンツ アイテムに対して実行しないようにすることが可能です。 アイテムの検証違反はコンテンツ エディターの検証バーのエントリの編集ウィンドウの右に表示されます。エントリを右クリック すると、検証ルール違反を解消するために利用可能な検証アクションが表示されます。 検証ルールを実行しないようにする方法:

- 1. コンテンツ エディターで、検証ルール違反のあるコンテンツ アイテムを選択します。
- 2. 編集ウィンドウの右の検証バーで、検証アイコンを右クリックし、[Suppress Validation Rule] をクリックします。



3. [Suppress Validation Rule] をクリックすると、Sitecore はスタンダード テンプレートで定義された [検証 ルールを実行しない] フィールドに検証コントロールを追加します。



検証バーはこのフィールドで指定された検証コントロールの処理を行いません。



## 4.6 カスタム検証コントロール

この章ではカスタム検証コントロールを実装する手順を説明します。

### 4.6.1 カスタム検証コントロールの実装方法

カスタム検証コントロールには2つのコンポーネントが必要です:.NET クラスと検証コントロール定義アイテムです。

### 4.6.2 カスタム検証コントロールの実装方法

カスタム検証コントロールを実装するには:

1. Microsoft Visual Studio の Web アプリケーション プロジェクトで次のプロトタイプに基づくクラスを作成しま

```
す:
  using System.Runtime.Serialization;
 using Sitecore.Data.Validators;
 namespace Namespace.Data.Validators.ItemValidators//TODO:namespace (FieldValidators)
    [Serializable]
   public class ClassName :Sitecore.Data.Validators.StandardValidator
     public ClassName () {}//TODO:class name
     public ClassName (
       SerializationInfo info,StreamingContext context) :base (info,context)
     public override string Name
     {
       get
         return (GetType () .ToString () ) ;//TODO:validator name
       }
     protected override ValidatorResult GetMaxValidatorResult ()
       return (GetFailedResult (ValidatorResult.Error) ) ;//TODO:error level
     }
     protected override ValidatorResult Evaluate ()
       if (false) //TODO:validate ControlValidationValue
       {
         return (ValidatorResult.Valid) ;
       }
       else
         Text = "error message";//TODO:error message
         return (GetFailedResult (ValidatorResult.Error) ) ;//TODO:error level
       }
     }
   }
 }
2. このクラスで Namespace.Data.ItemValidators を適宜な名前空間で置換します。
3. このクラスで ClassName のすべてのインスタンスをクラス名で置換します。
4. このクラスで GetType () .ToString () を検証コントロールのフレンドリー ネームで置換します。
```



- 5. このクラスですべてのインスタンスを適宜な検証エラーレベルで置換します。
- 6. このクラスで false を ControlValidationValue のフィールド値を検証するロジック、または GetItem () で返されるアイテムで置換します。
- 7. このクラスで error message をエラーメッセージで置換します。
- 8. 検証コントロールを登録します。検証コントロールを登録する方法は「検証コントロールの登録方法」のセクショ ンを参照してください。

#### 重要

GetMaxValidatorResult () メソッドの結果が FatalError または CriticalError である場合、 Sitecore はユーザー インターフェイスのセーブまたはワークフローコマンドなどの操作を検証が完了するまでブロックします。 検証の間、ユーザー インターフェイスがブロックされるのを避けるためには、コストの高い検証コントロールの GetMaxValidatorResult () メソッドが FatalError または CriticalError を返さないようにします。 検証バーおよびクイック アクション バーの検証コントロールはユーザー インターフェイスをブロックしません。



# 4.7 検証アクション

検証アクションは検証エラーを修正するためにユーザーインターフェイスからクリックで操作できる処理を示します。

### 4.7.1 検証アクションの作成方法

```
単一行テキスト データ テンプレート フィールドに検証アクションを作成するには:
```

```
1. Visual Studio の Web アプリケーション プロジェクトで次のプロトタイプに基づくクラスを作成します:
using Sitecore.Shell.Framework.Commands.ContentEditor.Validators;
```

```
namespace Namespace.Shell.Framework.Commands.ContentEditor.Validators//TODO:namespace
  public class ClassName:ValidatorCommand//TODO:class name
    public override void Execute (CommandContext context)
      var validator=GetValidator (context) ;
      if (validator!=null)
        var control = GetControlToValidate (validator) ;
        if (control!= null)
          control = control as Sitecore.Web.UI.HtmlControls.Control;
          if (control!=null)
            control.Value=Value;//TODO:logic
            Validate () ;
        }
      }
    }
  }
}
```

- このクラスで Namespace.Shell.Framework.Commands.ContentEditor.Validators をク ラスのネーム スペースで置換します。
- 3. このクラスで ClassName をクラス名で置換します。
- 4. このクラスで Value をフィールドの検証された値で置換します。
- 5. コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Validation rules/Field Rules アイテムを選択します。
- 6. コンテンツ エディターで /System/Menus/Menu Item データテンプレートを使って検証アクション定義ア イテムを挿入します。
- 7. **コンテンツ エディター**で、検証アクション定義アイテムの [データ] セクションの [表示名] フィールドで、検証ア クションを起動するためにユーザーがユーザー インターフェイスから選択するラベルを入力します。
- 8. /App\_Config/commands.config ファイルで次のプロトタイプに基づく新しいコマンドを挿入します: <command name="validator:ClassName" type="Namespace.Class,Assembly"/>
- 9. /App\_Config/commands.config ファイルで ClassName をクラス名で置換し、 Namespace.Class,Assembly を名前空間とクラスシグネチャで置換します。

#### 重要

セーブされていない値は UI 中にのみ存在し、データベースには存在しないため、検証アクションでは Sitecore.Data.Items.Item およびその他の API は使用できません。フィールドを検証するために使われる API はフィールド タイプに依存し、JavaScript を起動する場合があります。(たとえばリッチ テキスト エディター フィールドの値



など)

### 4.7.2 検証アクションの使用方法

検証アクションを使用する方法:

- 1. コンテンツ エディターで検証アクションをもつ検証ルールに反するアイテムを編集します。
- 2. [検証] バーで [検証インジケーター] を右クリックし、検証アクションを選択します。



# **Chapter 5**

# ページ エディター

この章はインライン編集やデザイン モードなどの CMS 機能を提供するページ エディターの構成の手順 を説明します。

この章には次のセクションがあります。

- ページ エディターの概要
- プレースホルダーの設定
- ページ エディターのモード
- エディット フレーム
- フィールド、レンダリング、プレースホルダーにコマンドを作成する
- フィールド エディター



### 5.1 ページ エディターの概要

ユーザーが Web サイトを移動すると、ページ エディターはユーザーが選択したアイテムを編集する機能を含むユーザー インターフェイスの要素を重ね合わせます。

### 5.1.1 ページ エディターのデザイン モード

ページ エディターではデザイン モードを使ってコンテンツ アイテムのレイアウト詳細を構成することができます。 デザイン モード は「プレースホルダーの設定」を使って明示的に許可されるもの以外には、ユーザーがプレゼンテーション コンポーネントのバ インドができないようにします。

#### メモ

デザイン モードはコンポーネントのネスト順を強制し、ユーザーがプレゼンテーション コンポーネントを存在しないプレースホル ダーにバインドしないようにし、完全修飾のプレースホルダー キーを挿入します。



### 5.2 プレースホルダーの設定

プレースホルダーの設定はユーザーがページ エディターのデザイン モードでどのプレゼンテーション コンポーネントをプレースホ ルダーにバインドできるかを制御します。ページ エディターのデザイン モードに関する詳細は「ページ エディターのデザイン モ ード」のセクションを参照してください。

開発者は次のためにプレースホルダーの設定を使います:

- ユーザーがプレースホルダーにバインドする適切なプレゼンテーション コンポーネントを選ぶために役立てる
- ある種のユーザーが特定のプレースホルダーにコンポーネントをバインドできないようにする

レイアウト詳細はプレースホルダー キーまたは完全修飾プレースホルダー キーによってプレースホルダーを参照します。<sup>7</sup>たと えば、レイアウトで [main] キーをもつプレースホルダーにバインドされたサブレイアウトで [content] キーをもつプレー スホルダーへの完全修飾プレースホルダー キーは /main/content です。

#### ۶Ł

ページ エディターのデザイン モードは完全修飾プレースホルダー キーを使用しますが、レイアウト詳細は完全修飾プレース ホルダー キーを必要としません。

プレースホルダー キーと合致する名前のプレースホルダー設定定義アイテムは、レイアウト詳細がプレースホルダー設定を指 定していない限り、それらのプレースホルダーに自動的に適用されます。content という名前のプレースホルダー設定定 義アイテムは自動的に [content] というキーをもつすべてのプレースホルダーに適用されます。これにはネストされたプレ ースホルダーを含みますが、レイアウト詳細がプレースホルダー設定を指定している場合を除きます。プレースホルダーのデフ ォルト プレースホルダー設定定義アイテムの名前にはプレースホルダー キーを使用します。たとえば、[content] というキ ーをもつプレースホルダーには content という名前のプレースホルダー キーを使用します。または慣例により、 スラッシュ文字 ("/") をダッシュ文字 ("-") で置換して完全修飾プレースホルダー キーを使います。たとえば、レイア ウトの [main] キーをもつプレースホルダーにバインドするためのサブレイアウトの [content] キーをもつプレースホル ダーを制御するには、content という名前のプレースホルダー設定定義アイテムを挿入するか、または main-content という名前のプレースホルダー設定定義アイテムを挿入し、このプレースホルダー設定定義アイテムをレイアウト詳細の完全 修飾プレースホルダー キー /main/content と関連付けます。

開発者はプレースホルダー設定定義アイテムを使用してプレースホルダー設定を構成します。開発者はアイコンを各プレー スホルダー設定定義アイテムにアサインすることにより各プレースホルダーに表示されるアイコンを制御することができます。開 発者はプレースホルダー設定定義アイテムへの書き込みアクセスを制限することにより、どのユーザーがプレースホルダー コン ポーネントをプレースホルダーにバインドするかを制限することができます。開発者はプレースホルダー設定定義アイテムの [概要] フィールドに HTML を入力して、ユーザーがマウスをページ エディターのデザイン モードのプレースホルダーの上で動 かしたときに表示されるツールティップを制御することができます。

#### 重要

Sitecore は対応するネストしたプレースホルダーへの完全修飾プレースホルダー キーを使用して、プレースホルダー設定を

7レイアウト詳細とプレースホルダーに関する詳細は

<u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Presentation%20Component%20Reference.aspx</u>から『プレゼンテーション コンポーネント リファレンス」を参照してください。



自動的には適用しません。たとえば、完全修飾キー /main/content を使ったプレースホルダーには、もしそれが存在 した場合、content という名前のプレースホルダー設定定義アイテムは適用されますが、main-content という名前 のプレースホルダー設定定義アイテムは適用されません。異なる用途のプレースホルダーに異なるプレースホルダー設定定 義アイテムを適用するには、プレースホルダー キーにプレースホルダー設定を構成するか、またはレイアウト詳細を使って完 全修飾プレースホルダー キーにプレースホルダー設定を構成します。

### 5.2.1 プレースホルダー設定定義アイテムの作成方法

プレースホルダー設定定義アイテムを作成する方法:

- 1. コンテンツ エディターで /Sitecore/Layout/Placeholder Settings アイテムを選択します。
- 2. コンテンツ エディターで /System/Layout/Placeholder データテンプレートを使ってプレースホルダー 設定定義アイテムを挿入します。プレースホルダー設定定義アイテムにそれが制御するプレースホルダーのキー にちなんだ名前をつけます。
- 3. コンテンツ エディターでプレースホルダー設定定義アイテムを選択します。
- 4. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [**レンダリング許可**] フィールドでユーザーがプレースホルダーにバ インドできるプレゼンテーション コンポーネントを選択します。
- 5. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [説明] フィールドでプレースホルダーのサマリーを入力します。レ イアウトまたはサブレイアウト内にプレースホルダーの場所を示す図を含めることを検討してください。
- 6. **コンテンツ エディターで**プレースホルダー設定定義アイテムにアイコンを設定し、ページ エディターのデザイン モードのプレースホルダー名の隣に表示されるイメージを制御します。アイテムにアイコンを設定する方法は「アイテムへのアイコンの設定方法」のセクションを参照してください。
- 7. どのユーザーがサブレイアウトとレンダリングをプレースホルダーにバインドできるかを制御するには、プレースホルダ ー設定定義アイテムへの書き込みアクセス権を構成します。

### 5.2.2 データ テンプレートまたは個々のアイテムへのプレースホルダー設定の構成方法

データ テンプレートまたは個々のアイテムへのプレースホルダー設定を構成する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**でスタンダード バリュー アイテムまたは個々のアイテムを 選択します。
- 2. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [プレゼンテーション] タブをクリックします。
- 3. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**の [**プレゼンテーション**] タブで、[**レイアウト**] グループで [詳細] コマンドをクリックします。[**レイアウト詳細**] ダイアログが表示されます。
- 4. [**レイアウト詳細**] ダイアログで対象のデバイスの下で [**編集**] をクリックします。[デバイス エディター] が表示 されます。
- 5. [デバイス エディター] で [プレースホルダー設定] タブをクリックし、[追加] をクリックします。[プレースホルダ ー設定] ダイアログが表示されます。
- 6. [プレースホルダー設定] ダイアログの [キー] でプレースホルダー キーまたは完全修飾プレースホルダー キーを 入力します。
- 7. [プレースホルダー設定] ダイアログの [設定アイテム] で [参照] をクリックし、プレースホルダー設定定義アイ テムを選択します。



# 5.2.3 ページ エディターを使用してコンポーネントを割り当て、プレースホルダー設定を 編集する方法

ページ エディターを使用して新しいコンポーネントを追加する場合には、先にプレースホルダーを指定する必要はありません。 コンポーネントを追加する場所によって正しいプレースホルダーが自動的に割り当てられます。

### コンポーネントを割り当てる

ページ エディターを使ってコンポーネントを追加する方法:

- 1. ページ エディターを開きます。デザイン モードが有効になっていることを確認します。
- 2. リボンの [**ホーム**] タブで [**コンポーネント**] をクリックします。

ページ上でコンポーネントを追加可能な場所に利用可能なプレースホルダーがすべて表示されます。



- 3. コントロールを追加するためには、[ここに追加する] をクリックします。
- 4. [レンダリングを選択] ダイアログ ボックスでコンポーネントを選択します。
- 5. コンポーネントを選択し、[選択]をクリックして変更を保存します。

#### メモ

開発者は追加するコンポーネントを選択した後に表示される追加のダイアログ ボックスを指定することができます。たとえば、 コンポーネントの設定がさらに必要である場合には、プロパティやデータ ソースのダイアログ ボックスを自動的に開くと役立つ 場合があります。

#### プレースホルダーに関連付けられたコントロールを編集する

ページ エディターを使ってプレースホルダーに関連付けられたコントロールを編集する方法:

- 1. プレースホルダーまたはコンポーネントを選択します。
- ページ上のコンポーネントを選択した場合には [親を表示] をクリックして利用可能なプレースホルダーを表示します。次に [プレースホルダー設定を編集する] をクリックします。この例では、ページの列 (page-columns) がプレースホルダーの名前です。





3. [プレースホルダー設定を編集する]をクリックします。



4. [プレースホルダー設定を編集する] ダイアログ ボックスで [編集] をクリックすると、[アイテムを選択] ダイアログ ボックスが開きます。



□     □	<b>ボ</b> コンボーネント	コンテンツを挿入 ロック タワークボックス	パブリッシュ	📓 閉じる 🎢 ログオフ	
ブラウザ表示	新規作成	編集	パブリッシュ	終了	
・ ホーム → □→ 粉 ホーム   ● 8 ②	る動 🔪 編集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Sitecore Web ページ ダイアログ アイテムを選択 使用したいアイテムを選択してください。			
page-column	ージの列 (page-c 付けられたコント1 列(Left, Conte 列(Left, Conte 列(Content, Riv 列(Content)	すべて ■ <mark>●レイアウト</mark> ● <i>● レンダリング</i> ● 量 サブレイアウト	選択済み ② <u>例(Left Co</u> 列(Left Co 列(Content 列(Content	intent, Right) intent) ;, Right) ;)	0
「「」」 にに追加す トレーー	可能 [バージョン管		ङग्रि(Left, Cont	eent, Right) OK キャン	
このサンプ/ トレーニンち				保存して閉じる キャンセル	

5. [アイテムを選択] ダイアログ ボックスでレンダリングまたはサブレイアウト コントロールを選択し、[OK] をクリック します。

#### ۶Ł

この方法でプレースホルダーに関連付けられたコントロールを追加または削除できます。従来、これはコンテンツ エディターを 使ってのみ行うことが可能でした。



# 5.3 ページ エディターのモード

各プレゼンテーション コンポーネントは Sitecore にコンポーネントを起動させたユーザー アクションに応じて論理ページ モードで実行されます。

プレゼンテーション コンポーネントが実行されるモードには次のものがあります:

- パブリッシュされた Web サイト
- ブラウザ ベースのデバッガー (プロファイリングとトレースがアクティブであるかどうかにかかわらず)
- ページ エディター (インライン編集がアクティブであるかどうかにかかわらず)
- プレビュー
- ページ エディターのデザイン モード

プレゼンテーション コンポーネントは異なるモードで異なるアウトプットを生成する場合があります。たとえば、プレゼンテーショ ン コンポーネントは HTML<title> 要素にフィールドの値を投入する場合があります。ブラウザはインライン編集機能を HTML<title> 要素に提供することはできません。もしページがそのフィールドをどこか他で使用しない場合は、ユーザー はフィールドをページ エディターで編集することはできません。この場合、ページの他の場所で使用されているプレゼンテーシ ョン コンポーネントはユーザーがインライン編集を使用している場合、ページのどこか他の場所で使用されている値を出力す ることができます。また別の例として、フィールド値が空の場合 <div> 要素を出力しないレンダリングを考慮してください。 フィールドのインライン編集を提供するため、レンダリングはフィールドに値がある場合またはユーザーがページ エディターでイ ンライン編集中である場合、<div> とフィールド エディット コントロールを出力することができます。

### 5.3.1 ページ エディターのモードの判定方法

sc:pageMode () XSL 拡張関数または Sitecore.Context.PageMode.NET オブジェクトのプロパティを使ってページ エディターのモードを判定することができます。sc:pageMode () XSL 拡張関数と Sitecore.Context.PageMode.NET オブジェクトに関する詳細は「ページ エディターのモード」のセクションを参照してください。

たとえば、次の XSL コードは XSL レンダリングがページ エディターのなんらかのモードで稼働しているかどうか (サイトがパブ リッシュされたのでなく) を判定します。

```
<xsl:if test="sc:pageMode () /pageEditor">
  <!-- the user is in the Page Editor.-->
</xsl:if>
```

次の C# コードは .NET コンポーネントがページ エディターのなんらかのモードのコンテキストで稼働しているかどうか (サイト がパブリッシュされたのでなく) を判定します。

```
if (Sitecore.Context.PageMode.IsPageEditor)
{
    // the user is in the page editor.
}
```

#### ۶Ł

ユーザーはページ エディターの複数のモードに同時にアクセスすることができます。

# 5.3.2 ページ エディターのモード

次のテーブルにページ モードを判定する XSL と .NET プログラミングコンストラクトを示します。



XSL sc:pageMode ()	.NET Sitecore.Context.PageMode	モードの説明
/pageEditor	IsPageEditor	ページ エディターにアク セスする
/pageEditor/edit	IsPageEditorEditing	ページ エディターのイ ンライン編集とデザイン
/preview	IsPreview	プレビュー
/normal	IsNormal	パブリッシュされた Web サイト
/profile	IsProfiling	デバッギング、プロファ イリング
/debug	IsDebugging	デバッギング



# 5.4 エディット フレーム

エディット フレームはユーザーがページ エディターでインライン編集中にマークアップ構造周辺でのコンテキストメニュー付きの 境界線を挿入します。エディット フレーム コマンドは Sitecore のユーザー インターフェイス コマンドを起動します。<sup>8</sup> エディ ットフレームは <div> 要素、およびその上にエディット フレームを生成します。メニューの中の各エディット フレーム コマンド が Sitecore コマンドを起動します。

🕑 🗢 🙋 http://everest/	hc_mode=edit	💌 🔂 🐓 🗙 🍂 Uve Search	P -
varites 🏾 🍎 Welcome to S	itecore	💁 • 🖾 - 📾 • Bage • S	fety • Tgols • 🔞 • "
ave Save & Close	Close Insert Ribbon		-
	•		
	e		
	Sitecore		
	Welcome to Sitecore		
	Pare fran -		
	Direct New an is false		
	💑 Edit Item		

エディット フレーム コントロールの [ボタン] プロパティは、エディット フレーム メニューに表れるエディットフレーム メニュー アイ テムを表す子を含む Core データベースのアイテムを指定します。エディット フレーム メニューを指定しない場合、 Sitecore は Core データベースの /Sitecore/Content/Applications/WebEdit/Edit Frame Buttons/Default アイテムで定義されるデフォルトのエディット フレーム メニューを使用します。デフォルトのエディット フ レーム メニューは、ユーザーがエディット フレームのデータソースに定義された挿入オプションを使ってアイテムを挿入できるイ ンサート エディット フレーム メニュー コマンドを含みます。

前が必要です。
挿入 キャンセル

カスタムのエディット フレーム コマンドを含むエディット フレームの実装の例は「カスタムのフィールド エディターの実装方法」の セクションを参照してください。

XE

web.config  $\sigma$  /configuration/sitecore/settings/setting  $\overline{g}\overline{s}\sigma$ 

<sup>8</sup>エディット フレームを使ってフィールド エディターを開く例については <u>http://trac.sitecore.net/DefaultFieldEditor/</u> を参照 してください。



nameWebEdit.DefaultButtonPath の value 属性を設定することによりデフォルト エディット フレーム メニューを構成することができます。

#### ۶Ł

Sitecore はネストしたエディット フレームはサポートしません。エディット フレームは他のどんなコントロールを含むこともできます。これにはインライン編集コントロールを生成する FieldRenderer Web コントロールを含みますが、他のエディット フレームを含むことはできません。<sup>9</sup>

### 5.4.1 エディット フレーム メニュー コマンドの実装方法

エディットフレームメニューコマンドを実装する方法:

- Visual Studio の Web アプリケーション プロジェクトで Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.Commands.WebEditCommand から継承するエ ディット フレーム メニュー コマンド クラスを作成します。
- 2. このクラスで Execute () メソッドを実装します。
- 3. エディット フレーム メニューにエディット フレーム メニュー コマンド定義アイテムを追加します。詳細は「エディット フレーム メニューの定義方法」のセクションを参照してください。

### 5.4.2 エディット フレーム メニューの定義方法

エディット フレーム メニューを定義する方法:

- Sitecore デスクトップで Core データベースを使い、コンテンツ エディターで /Sitecore/Content/Applications/WebEdit/Edit Frame Buttons アイテムを選択しま す。Sitecore デスクトップでデータベースを選択する方法は「Sitecore デスクトップでのデータベースの選択方 法」のセクションを参照してください。
- 2. コンテンツ エディターで /System/WebEdit/Edit Frame Button Folder データ テンプレートを 使ってエディット フレーム メニュー定義アイテムを挿入します。

#### ヒント

または /Sitecore/Content/Applications/WebEdit/Edit Frame Buttons/Default エディットフ レームメニュー定義を複製することもできます。

3. **コンテンツ エディター**でエディット フレーム メニュー定義アイテムの下に /System/WebEdit/Edit Frame Small Button データ テンプレートを使って、一つまたは複数のエディット フレーム メニュー コマンド定義アイテムを挿入します。

#### ヒント

/Sitecore/Content/Applications/WebEdit/Edit Frame Buttons/Default/Insert  $\mathcal{P} d \bar{\tau} \Delta$ 

<sup>9</sup>FieldRenderer Web コントロールに関する詳細は

<u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Presentation%20Component%20Reference.aspx</u>から『プレゼンテーション コンポーネント リファレンス』を参照してください。



を複製してエディットフレームメニュー定義アイテムを作成することもできます。

#### ヒント

既存のエディット フレーム メニュー コマンド定義アイテムを複製しそのプロパティを更新することもできます。

#### ヒント

デフォルトのフィールド エディターのエディット フレーム メニュー コマンドを挿入するには「デフォルトのフィールド エディターの使用方法」のセクションを参照してください。

- 4. **コンテンツ エディター**で、各エディット フレーム メニュー コマンド定義アイテムで [**データ**] セクションの [ヘッダ ー] フィールドで、ページ エディターのメニュー コマンドに表示されるメニュー ラベルを入力します。
- 5. **コンテンツ エディター**で、各エディット フレーム メニュー コマンド定義アイテムで [**データ**] セクションで、アイコン フィールドをメニュー アイテムのアイコンに設定します。

#### ヒント

このアイコンをエディット フレーム メニュー コマンド定義アイテム自体に使うこともできます。

- 6. **コンテンツ エディター**で、各エディット フレーム メニュー コマンド定義アイテムで [データ] セクションで、[クリッ ク] フィールドをメニューコマンドが起動する UI コマンドに設定します。
- フ・コンテンツ エディターで、各エディット フレーム メニュー コマンド定義アイテムで [データ] セクションで、[ツール ティップ] フィールドをメニュー アイテムのためのホバー テキストに設定し、エディット フレーム メニュー コマンド定 義アイテムをセーブします。
- 8. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。データベースを選択する方法は「Sitecore デス クトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。

### 5.4.3 レイアウトまたはサブレイアウトにエディット フレームを挿入する方法

レイアウトまたはサブレイアウトにエディットフレームを挿入するには、次のようなコードを追加します:

<sc:editframe runat="server">

```
</sc:editframe>
```

「エディット フレーム プロパティ」セクションに説明されている方法で、エディット フレームのプロパティを設定することができます。

### 5.4.4 XSL レンダリングにエディット フレームを挿入する方法

XSL レンダリングにエディット フレームを挿入するには、次のようなコードを追加します:

```
<sc:editFrame>
```

```
</sc:editFrame>
```

「エディット フレーム プロパティ」セクションに説明されている方法でエディット フレームのプロパティを設定することができます。

# 5.4.5 エディット フレーム プロパティ

次のようなエディットフレームのプロパティを設定することができます。



プロパティ (.NET)	属性 (XSL)	説明
Buttons	Buttons	エディット フレーム メニュー ア イテムが利用出来るコマンドを 定義する
CssClass	class	エディット フレームで生成され た <div> 要素の class 属性の値</div>
DataSource	select	エディット フレーム メニュー コ マンドに渡されるアイテム
Debug	debug	Sitecore がエディット フレー ムによって生成された <div> 要素を整形するかどうか制御 する</div>
FramePadding	frame-padding	コンテンツのまわりに表示され るエディットフレームを示される ピクセル数だけ拡張する
HintOffset	hint-offset	エディット フレーム ホバーリング メニューとエディット フレーム領 域の間のピクセル数
Style	Style	エディット フレームで生成され た <div> 要素の style 属性の値</div>
Title	Title	エディット フレーム メニューのタ イトル
Tooltip	Tooltip	エディット フレーム メニューのツ ールティップ



# 5.5 フィールド、レンダリング、プレースホルダーにコマンドを作成する

プレースホルダー、レンダリング、フィールド、マークアップ要素にコマンドを追加して、それらをページ エディターのインターフェイ スに表示することができます。マークアップ要素にはフレームを編集します。フィールド、レンダリング、プレースホルダーには下 記の方法を使用します。

新しいフィールド コマンドを作成する方法:

- 1. Visual Studio の Web アプリケーション プロジェクトで、次を継承するコマンド クラスを作成しま す:Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.Commands.WebEditCommand
- 2. クラスをコンパイルします。
- 3. /App Config/commands.config ファイルに新しいエントリを作成します。
- 4. Sitecore デスクトップで Core データベースに切り替えます。コンテンツ ツリーで WebEdit ノードに移動します:

/Sitecore/Content/Applications/WebEdit

WebEdit ノードの下には各種のプレゼンテーション コンポーネント コマンドのためのフォルダーがあります:

- Command Field Buttons
- Custom Experience Buttons
- Default Placeholder Buttons
- Default Rendering Buttons
- 5. 新しいフィールド コマンドを定義するためには、Common Field Button フォルダーを選択します: /sitecore/content/Applications/WebEdit /Edit Frame Buttons/
- 6. System/WebEdit/WebEdit Button データ テンプレートを使用して新しいボタンの定義アイテムを追加します。
- 7. ボタンに名前を付けます。たとえば、MyButton とします。
- 8. ボタンの定義アイテムの [データ] セクションで次のフィールドを記入します:
  - 。 **アイコン** ページ エディターでユーザーがマウスをこのコマンドの上に動かしたときに表示されるアイコン
  - o Click Step 1 で作成したイベント コマンド クラスをポイントする
  - o Tooltip ユーザーがマウスをこのコマンドの上に動かしたときに表示するテキスト

例: [関連するアイテムを編集します] コマンドのデータ セクション



WohEdit		E Data
webluit		Header [unversioned]:
i ooibar		Edit the related item
🔲 Menu		
🗉 🧔 Chunks		
😑 🥼 Common Field Buttons		Open icon • Clear
Edit related item	Ξ	Icon [shared]:
Gustom Experience Buttons		SoftwareV2/16x16/cubes_blue.png
🗉 🧔 Default Placeholder Buttons		
Default Rendering Buttons		Click [shared]:
🗉 🧔 Edit Frame Buttons		chrome:common:edititem({command:"webedit:open"})
Menus		
🐚 Portal		Tooltip [unversioned]:
Ribbons		Edit this item in the Content Editor.
G String		

9. 変更を保存して、新しいコマンドをページ エディターでテストします。

#### メモ

個別のプレースホルダーにコマンドを定義することはできません。プレースホルダー コマンドはすべてのプレースホルダーに適用 されます。

#### メモ

web.config ファイルで定義された getChromeData パイプラインには、ページ エディターに表示されている各編集フレーム、 フィールド、レンダリング、プレースホルダーに公開するコマンドを判別するプロセッサがあります。



# 5.6 フィールド エディター

フィールド エディターはページ エディターの中でユーザーにページ エディターがインライン編集コントロールを提供しないフィー ルドを編集できるインターフェイスを提供します。フィールド エディターのユーザー インターフェイスはコンテンツ エディターのユ ーザー インターフェイスと比較するとかなり簡素化されています。

	eppage Dialog	2
Data		
Menu: Button width:		
Manue Duandaum widthe		
rienu: propaown wlath:		
Don't wrap body text around image [s	nared]:	
		<b>V</b>
	OF	Cancel

エディット フレーム コマンドを構成してフィールド エディターを起動することができます。Sitecore は指定したフィールドを編 集できるフィールド エディターを起動するために使用できるエディット フレーム コマンドを提供しています。フィールド エディタ ーをページ エディターの中から起動してインライン編集コントロールを提供しないフィールドを編集することができます。また一 つ以上のアイテムからのフィールドを同時に編集することができます。<sup>10</sup> エディット フレームに関する詳細は「エディット フレー ム」のセクションを参照してください。

#### 注意

フィールド エディターはアイテムの検証を強制しません。

### 5.6.1 デフォルトのフィールド エディターの使用方法

デフォルトのフィールドエディターは指定したフィールドを含みます。

- デフォルトのフィールド エディターを使用する方法:
  - 1. フィールド エディター メニューを定義します。フィールド エディター メニューを定義する方法は「エディット フレーム メニューの定義方法」のセクションを参照してください。
  - 2. コンテンツ エディターでフィールド エディター メニュー定義アイテムの下に System/WebEdit/Field Editor Button データ テンプレートを使って、デフォルトのフィールド エディター コマンド定義アイテムを挿入 します。

<sup>&</sup>lt;sup>10</sup> 標準のテンプレートでは定義されずインライン編集をサポートしないアイテムのすべてのフィールドを含むフィールド エディタ ーを開くためにエディット フレーム メニュー コマンドを提供する例については、 http://trac.sitecore.net/DefaultFieldEditor/を参照してください。

Sitecore® は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。 この文書の内容はサイトコアの所有物です。Copyright © 2001-2011 Sitecore. All rights reserved.



このフィールド エディター コマンド定義アイテムは webedit:fieldeditor コマンドを起動します。

- 3. **コンテンツ エディター**でデフォルト フィールド エディター コマンド定義アイテムで [データ] セクションの [ヘッダ ー] フィールドで編集アイテムを入力します。
- 4. コンテンツ エディターで、デフォルト フィールド エディター コマンド定義アイテムで [データ] セクションで、[アイ コン] フィールドに people/16x16/cubes\_blue.png を設定します。アイテムにアイコンを設定する方 法は「アイテムへのアイコンの設定方法」のセクションを参照してください。

#### ヒント

このアイコンをエディット フレーム メニュー コマンド定義アイテム自体に使うこともできます。

コンテンツ エディターで、デフォルト フィールド エディター コマンド定義アイテムで [データ] セクションの [フィールド] フィールドで、フィールド エディターに含むフィールドの名前または ID をパイプ文字 ("」") 区切りで入力します。

#### УŦ

フィールド名は大文字と小文字を区別しません。

#### ۶Ł

指定されたフィールドのいずれかが存在しない場合、Sitecore はエラーを出しません。

6. Sitecore デスクトップで Master データベースを選択します。データベースを選択する方法は「Sitecore デス クトップでのデータベースの選択方法」のセクションを参照してください。

### 5.6.2 カスタムのフィールド エディターの実装方法

- フィールドを動的に含むフィールドエディターを実装する方法:
  - Visual StudioのWebアプリケーションプロジェクトで Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.Commands.FieldEditorCommand クラスから 継承するクラスを作成します。
  - 2. このクラスで、フィールド エディターに含むフィールドのリストを作成する GetOptions () メソッドを実装します。
  - GetOptions () メソッドで
     Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.PageEditFieldEditorOptions クラスのコン ストラクターにフィールドのリストを渡します。
  - GetOptions () メソッドで
     Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.PageEditFieldEditorOptions オブジェクトの追加プロパティをセットします。
  - 5. GetOptions () メソッドで Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.PageEditFieldEditorOptions オブジェクト



を返します。

- 適当なエディット フレーム メニュー定義にフィールド エディター コマンドを追加します。エディット フレーム メニュ ー定義アイテムにコマンドを追加する方法は「エディット フレーム メニューの定義方法」のセクションを参照してく ださい。
- エディット フレーム メニューを使用するには、レイアウトまたはサブレイアウトまたは XSL レンダリングでエディット フレームを構成します。レイアウト、サブレイアウト、XSL レンダリングを構成してエディット フレーム メニューを使 用する方法は「レイアウトまたはサブレイアウトにエディット フレームを挿入する方法」または「XSL レンダリングに エディット フレームを挿入する方法」のセクションを参照してください。

#### メモ

フィールド エディターはすべてのフィールドを表示された 1 つのセクションにマージします。 Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.PageEditFieldEditorOptions オブジェクトのタイトルと アイコン プロパティを設定してこのセクションに使われるアイコンラベルを制御することができます。または PreserveSections プロパティを true に設定し、元のセクション構造を保ちます。

#### ۶Ł

Sitecore.Shell.Applications.WebEdit.PageEditFieldEditorOptions オブジェクトの DialogTitle プロパティを設定してフィールド エディター ブラウザー ウィンドウのタイトルを制御することができます。



# **Chapter 6**

# セキュリティの構成機能

この章ではコンテンツオーサーのユーザー エクスペリエンスを最適化するために開発者が使用できるセキュリ ティ機能 (Sitecore セキュリティロールを含む) を説明します。

この章には次のセクションがあります。

- Sitecore のクライアント セキュリティ ロール
- セキュリティのプリセット
- データ テンプレートのフィールドのセキュリティ



# 6.1 Sitecore のクライアント セキュリティ ロール

セキュリティ管理者は CMS ユーザーを 1 つまたは複数の Sitecore クライアントセキュリティロールに関連付け、 Sitecore ユーザー インターフェイスから使用できる機能を制御します。

Sitecore アプリケーションはすべての機能をすべてのユーザーに表示するわけではありません。使用できる機能を制限する ことには下記のようなメリットがあります:

- ユーザー インターフェイスの要素の数を減らすことでパフォーマンスとユーザビリティが改善される
- 選択肢を減らすことでユーザーが不注意によって機能を実行することを防ぐことができる
- 不要な機能を非表示にすることでトレーニング要件を最小化することができる

Sitecore の各ロールに関連付けられた機能のリストは、この文書では対象外として掲載していません。 次の表はデフォルトの各 Sitecore クライアント セキュリティ ロールのメンバーシップに提供されているオプションの要約です。

ロール	機能
Sitecore Account Managing	ユーザー、ロール、ドメイン管理機能にアクセスする
Sitecore Client Authoring	コンテンツ エディター、ページ エディター、その他のコンテンツ オ ーサーのためのアプリケーションのコンテンツ オーサリング機能に アクセスする
Sitecore Client Configuring	コンテンツ エディターのアイテムの構成機能にアクセスする
Sitecore Client Designing	コンテンツ エディターとページ エディターのデザイン機能にアクセ スする
Sitecore Client Developing	デベロッパー センターとその他の開発機能にアクセスする
Sitecore Client Maintaining	データテンプレート管理機能にアクセスする
Sitecore Client Publishing	サイトとアイテムのパブリッシュ機能にアクセスする
Sitecore Client Securing	セキュリティ エディターとアクセス権をアサインすることに関連付け られたその他の機能にアクセスする
Sitecore Client Translating	コンテンツの翻訳機能にアクセスする


ロール	機能
Sitecore Client Users	ユーザーに Sitecore クライアントへのログインを許可する。他の すべての Sitecore クライアントロールは Sitecore Client Users ロールのメンバーである。どの Sitecore クライアントロー
	ルのユーザーも自動的に Sitecore Client Users ロールのメ ンバーとなる。

セキュリティ管理者は下記のロールを使って Sitecore Client Authoring ロールのメンバーの利用できる機能を制限しま す。管理者は Sitecore Client Authoring ロールをアサインしたあとでこれらのロールのメンバーにすることで、より使用で きる機能に制限のあるユーザーにすることができます。

	ロール			機能
_	Sitecore Limited Content Editor		ontent	機能を単純化されたコンテンツ エディター インターフェイスに限 定する
-	Sitecore Editor	Limited	Page	機能を単純化されたページ エディター インターフェイスに限定 する
-	Sitecore Editor	Minimal	Page	ページ エディターからリボンを削除する

次のロールはデフォルトのアクセス権を各種のデータベースの分岐に与え、関連する Sitecore のクライアント ロールのメン バーに含めることで、セキュリティ管理を簡素化します。

ロール	機能
Author	コンテンツ ツリーの /sitecore/content 分岐にアクセス 権を与える。Sitecore Client Authoring のメンバー。
Designer	デザイン変更をする際に必要なコンテンツ ツリーの部分へのア クセス権を与える。Sitecore Client Designing のメンバ ー。
Developer	サイトの開発とメンテナンスをする際に必要なコンテンツ ッリーの部分へのアクセス権を与える。Author、Designer、 Sitecore Client Developing、Sitecore Client Maintaining、Sitecore Client Configuring のメンバ ー。



Sitecore は Online Marketing Suite (OMS)の機能へのアクセスを制御するデフォルトのロールも提供しています。

ロール		機能
Analytics	Content	アナリティクス プロファイルのメンテナンスへのアクセス権を与え
Profiling		3.
Analytics Maintaining		マーケティング センターへのアクセス権を与える。
Analytics Reporting		Sitecore アナリティクス レポートへのアクセス権を与える。

デフォルトの Sitecore のロールがあなたのユーザー インターフェイスの制御要件に合致していない場合は、Core データベースのアクセス権によって Sitecore が各ユーザーまたは各ロールに提示する機能のより精密な制御を行うことが可能です。

#### 重要

ユーザー インターフェイスの不要な機能を取り除き、ユーザーが誤って機能を起動する可能性を最小化するため、ユーザー はできるだけ最小限のロールのメンバーとします。このルールの唯一の例外は先に説明した限定的な最小限のロールです。 ユーザーは必要な場合にはこれらのロールのメンバーとなることができます。多くのユーザーは Sitecore Client Authoring ロールのメンバーのみになるのが望ましい方法です。ユーザーに追加の機能が必要な場合にセキュリティ管理 者が追加のロールを与えることができます。

#### 重要

管理者はロールのメンバーシップにかかわらず、すべての機能へのアクセス権を持ちます。管理者の数は最小限にします。



# 6.2 セキュリティのプリセット

セキュリティのプリセットを使うとユーザーはセキュリティ管理者によってあらかじめ決められたアイテムへのアクセス権のリストを 適用することができます。

セキュリティ管理者は次のためにセキュリティのプリセットを使います:

- エンドユーザーのコンテンツへのアクセス権の適用のプロセスを簡素化する
- ユーザーがコンテンツに適用する共通のアクセス権のリストを定義する
- 1 クリックのユーザー インターフェイス コンポーネントを提供し、そうでなければ複数のアクションが必要なアクセス権のリストを適用する

セキュリティのプリセットにはコンテンツ エディターの [プリセット] グループの [セキュリティ] タブから、またセキュリティ エディタ ーの [プリセット] グループからアクセスできます。

### ヒント

セキュリティ管理を最小化するため、可能な限りセキュリティの継承を使用します。

### 6.2.1 セキュリティのプリセットの作成方法

セキュリティ プリセット定義アイテムの名前には、リボンの中からこのセキュリティ プリセットを起動するコマンドにふさわしい値 を使います。

ユーザー インターフェイスからアクセス権を定義してセキュリティ プリセットを作成する方法:

- 1. コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Security/Presets アイテムを選択しま す。
- 2. **コンテンツ エディター**で /System/Security/Security Preset データ テンプレートを使ってセキュリ ティ プリセット定義アイテムを挿入します。

3. **コンテンツ エディター**で [データ] セクションの [セキュリティ プリセット] フィールドでアクセス権を定義します。 既存のソースアイテムからアクセス権をコピーしてセキュリティ プリセットを作成する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**でソース スタンダード バリュー アイテムまたは個々のアイ テムを選択します。
- 2. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでスタンダード フィールドを表示します。スタンダード フィ ールドを表示する方法は「スタンダード フィールドを表示または非表示にする」のセクションを参照してください。
- 3. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターで RAW フィールド値を表示します。RAW フィールド値 を表示する方法は「RAW 値を表示または非表示にする」のセクションを参照してください。
- 4. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [セキュリティ] セクションの [セキュリティ] フィールド で、値を選択し、それを Windows のクリップボードにコピーします。
- 5. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターで [スタンダード フィールド] を非表示にします。スタンダ ード フィールドを非表示にする方法は「RAW 値を表示または非表示にする」のセクションを参照してください。
- 6. コンテンツ エディターで /Sitecore/System/Settings/Security/Presets アイテムを選択し ます。
- 7. コンテンツ エディターで /System/Security/Security Preset データ テンプレートを使ってセキュ



リティ プリセット定義アイテムを挿入します。

- 8. **コンテンツ エディター**で [**セキュリティ**] セクションの [**セキュリティ**] フィールドで Windows クリップボードの値 を貼り付けます。
- 9. **コンテンツ エディター**で RAW フィールド値を非表示にします。RAW フィールド値を非表示にする方法は 「RAW 値を表示または非表示にする」のセクションを参照してください。

## 6.2.2 セキュリティのプリセットの適用方法

デフォルトではセキュリティ プリセットを適用するにはユーザーは管理者または Sitecore Client Security ロールのメンバーである必要があります。

コンテンツ エディターまたはセキュリティ エディターを使ってセキュリティ プリセットを適用します。

### ヒント

複数のアイテムにアクセス権を適用する場合にはセキュリティエディターを使用します。

コンテンツ エディターを使用してセキュリティ プリセットを適用するには:

- 1. コンテンツ エディターでアイテムを選択します。
- 2. **コンテンツ エディター**で [**セキュリティ**] タブをクリックします。
- 3. **コンテンツ エディター**で [**セキュリティ**] タブの [**プリセット**] グループで [セキュリティ プリセット] コマンドをクリッ クします。Sitecore はセキュリティ プリセット定義アイテムの [**セキュリティ プリセット**] フィールドで定義されたア クセス権を選択されたアイテムにコピーします。

セキュリティ エディターを使用してセキュリティ プリセットを適用する方法:

- 1. Sitecore デスクトップの左下の隅で、Sitecore ボタンをクリックし、次に [セキュリティ エディター] をクリック します。セキュリティ エディターが表示されます。
- 2. セキュリティ エディターでアイテムを選択します。
- 3. **コンテンツ エディター**で [**セキュリティ**] タブの [**プリセット**] グループで [**セキュリティ プリセット**] コマンドをクリ ックします。Sitecore はセキュリティ プリセット定義アイテムの [**セキュリティ プリセット**] フィールドで定義された アクセス権を選択されたアイテムにコピーします。



# 6.3 データ テンプレートのフィールドのセキュリティ

データ テンプレートのフィールドのセキュリティは、アイテムへのアクセスを制御するセキュリティ権限と、そのアイテムの個々のフ ィールド値へのアクセスを制御するセキュリティ権限とを区別します。

開発者は次のためにフィールド セキュリティを使います:

- あるユーザーの編集インターフェイスにあるフィールドを非表示にする
- あるユーザーの編集インターフェイスにあるフィールドを読み取り専用にする
- あるアカウントにはフィールド値の更新を許可し、他のアカウントにはこれらの値の更新ができないようにする

たとえば、SEO (search-engine optimization 検索エンジン最適化) のために、データ テンプレートフィールドの値を 使って HTML の <title> 要素を生成する組織では、他のフィールドへの書き込みアクセス権をもつユーザーがそのフィー ルドへの書き込みアクセスは不要である場合があります。それらのアイテムへの書き込みアクセスをもつある種のユーザーのみ が SEO に用いるフィールドを更新できることが望ましい方法です。フィールド セキュリティを使用してこれらの要件を満たす ことができます。

デフォルトではアイテムのアクセス権がアイテムのすべてのフィールドのアクセス権を定義します。あるフィールドがアクセス権を 定義すると、ユーザーは明示的なフィールド セキュリティ アクセスとフィールドを含むアイテムへのアクセスを必要とします。

### データ テンプレートのフィールド セキュリティの構成方法

データ テンプレートのフィールド セキュリティを構成する方法:

- 1. **テンプレート マネージャー**またはコンテンツ エディターでデータ テンプレート フィールド定義アイテムを選択しま す。
- 2. **テンプレート マネージャー**または**コンテンツ エディター**で [**セキュリティ**] タブをクリックします。
- 3. テンプレート マネージャーまたはコンテンツ エディターの [セキュリティ] タブで、[セキュリティ] グループで [割 り当て] コマンドをクリックします。アクセス権ダイアログが表示されます。
- 4. アクセス権ダイアログでフィールドの読み取りとフィールドの書き込みの権利を一つまたは複数のアカウントに許可 または不許可にします。



# **Chapter 7**

# Sitecore クライアント RSS フィード

この章では Sitecore クライアントの RSS フィード機能について説明します。<sup>11</sup> RSS フィードは情報を 標準の XML フォーマットで配信します。Sitecore クライアントの RSS フィードは CMS ユーザーに RSS の XML フォーマットで情報と機能を公開します。CMS ユーザーは任意の RSS リーダーを使用し て Sitecore クライアントの RSS フィードにアクセスすることができます。

この章はまず Sitecore クライアント RSS 機能の概要を説明し、次に Sitecore クライアント RSS 構成オプションを説明します。

この章には次のセクションがあります。

- Sitecore クライアント RSS フィードの概要
- Sitecore クライアント RSS フィードの構成

<sup>&</sup>lt;sup>11</sup> Sitecore RSS 機能についての詳細は

<sup>&</sup>lt;u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Presentation%20Component%20Cook</u> <u>book.aspx</u>から『プレゼンテーション コンポーネント クックブック』を、また

<sup>&</sup>lt;u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Content%20Author%27s%20Cookbook</u> <u>.aspx</u>から『コンテンツ オーサー リファレンス & クックブック』を参照してください。



# 7.1 Sitecore クライアント RSS フィードの概要

Sitecore クライアントの RSS フィードは CMS 機能を RSS (Really Simple Syndication) フィードとして公開します。

Sitecore は Core データベースの /Sitecore/Content/Applications/Syndication/Feeds アイテムの下の Sitecore クライアント RSS フィード定義アイテムを管理します。

## 7.1.1 ワークフロー フィード

ワークフロー フィードはワークフローにあるアイテムについての情報を公開します。 ワークフロー フィードはワークフローにある各アイテムの各状態の変化の RSS エントリを含みます。 ワークフロー フィードはワークボックスに示される各ワークフローのタイプの RSS アイコンとして表示されます。

### 7.1.2 ワークフロー状態フィード

ワークフロー状態フィードはあるワークフロー状態に入るまたは出るアイテムについての情報を公開します。

ワークフロー状態フィードはワークフロー上の各アイテムのワークフロー状態を出入するそれぞれの時点の RSS エントリを含みます。

ワークフロー状態フィードはワークボックスに示される各ワークフローの各状態の RSS アイコンとして表示されます。

## 7.1.3 アイテム更新フィード

アイテム更新フィードはアイテムの更新についての情報を公開します。またオプションとして、その子孫の更新についても公開します。

ワークフローに関連付けられたアイテムについては、アイテム更新フィードは各ワークフロー状態の変更の RSS エントリを含 みます。ワークフローに関連付けられていないアイテムについては、アイテム更新フィードは各言語の新バージョンごとの RSS エントリを含みます。

アイテム更新フィードは**コンテンツ エディター**の [**レビュー**] タブの [校正] グループの [購読] コマンドで表示されます。アイ テムの変更またはアイテムとその子孫の変更の購読を選択することができます。

<u>http://sdn.sitecore.net/Reference/References%20in%20Japanese/Presentation%20Component%20Cook</u> <u>book.aspx</u>から『プレゼンテーション コンポーネント クックブック』を参照してください。

<sup>&</sup>lt;sup>12</sup> RSS に関する詳細は <u>http://en.wikipedia.org/wiki/RSS (file\_format)</u>を参照してください。 Sitecore RSS 機能 についての詳細は



# 7.2 Sitecore クライアント RSS フィードの構成

本セクションは Sitecore クライアントの RSS フィードの構成について説明します。

## 7.2.1 ClientFeeds.MaximumItemsInFeed 設定

web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の name ClientFeeds.MaximumItemsInFeed の value 属性が Sitecore クライアント RSS フィードに含むアイテム の最大数を指定します。

# 7.2.2 ClientFeeds.ItemExpiration 設定

web.config の /configuration/sitecore/settings/setting 要素の nameClienteeds.ItemExpiration の value 属性が Sitecore クライアント RSS 配信アイテムの有効期 限を制御します。ClientFeeds.ItemExpiration 設定に値としてゼロ ("0") を設定するとアイテムは期限が 切れることがありません。この値として正数を設定すると、管理されている Web サイトの RSS フィード アイテムは指定され た日数ののち、RSS フィードから有効期限切れとなります。